

付属資料・目次

改修特記仕様書（抜粋）	特 1
現場説明付記事項・配置図・詳細配置図	1
第一臨床研究棟 仮設計画図【参考図】	2～8
第一臨床研究棟 平面図	9～2 1
第一臨床研究棟 矩形図	2 2～2 4
先端科学研究棟 平面図	2 5

京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・Ⅰ期）改修工事			
Ⅰ 工 事 概 要			
1. 工事場所 京都市左京区聖護院川原町 5 4（病院東棟内）			
2. 完成期限 令和 7 年 3 月 1 0 日（月曜日）			
3. 建物概要			
建 物 名 称		第一臨床研究棟	先端科学研究棟
工 種		模様替	模様替
構 造 ・ 階 数		SR8-Ⅰ, R1-Ⅰ	SR5-Ⅰ
建築基準法による	建築面積 (㎡)	1, 947㎡	1, 319㎡
	延べ面積 (㎡)	12, 755㎡	7, 586㎡
消防法施行令別表第一の区分		(7) 項	(7) 項
改 修 面 積 (㎡)		3, 240㎡	580㎡
備 考			
4. 工事種目			
○ 印の付いたものが対象工事種目			
建物別及び屋外		工 事 種 別	
工 事 種 目			
○ 2 仮設工事		一式	
○ 3 防水改修工事		一式	
・ 4 外装改修工事			
○ 5 建具改修工事		一式	
○ 6 内装改修工事		一式	
○ 7 塗装改修工事		一式	
・ 8 耐震改修工事			
○ 9 環境配慮改修工事		一式	
・ プール改修工事			
○ 電気設備工事		別途発注	
○ 機械設備工事		別途発注	
・			
5. 指定部分 ・ 無 ・ 有 対象部分（ 指定部分工期 令和 年 月 日（ 曜日）			
6. 概成工期 ・ 無 ・ 有 令和 年 月 日（ 曜日） (1. 2. 1) [1. 2. 1]			
Ⅱ 工 事 仕 様			
1. 共通仕様			
(1) 文部科学省発注工事請負等契約規則（文部科学省訓令第二十二号）別記第1号の工事請負契約基準、現場説明書、図面 2 5 枚及び本特記仕様書 1 枚によるほか、下記仕様書等のうち、○印の付いたものを適用する。			
○ 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）（以下「標準仕様書」という。）			
○ 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）（以下「改修標準仕様書」という。）			
○ 文部科学省建築工事標準仕様書（特記基準）（令和4年版）（以下「文科仕様書」という。）			
○ 文部科学省建築改修工事標準仕様書（特記基準）（令和4年版）（以下「文科改修仕様書」という。）			
○ 工事写真撮影要領（令和5年9月）			
・ 建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）			
○ 建築工事標準詳細図（令和4年版）			
・			
（注）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。			
なお、電気設備工事の特記仕様書は（ ）による。			
機械設備工事の特記仕様書は（ ）による。			
2. 特記仕様			
(1) 本特記仕様書の表記			
1）項目は、○ 印の付いたものを適用する。			
2）特記事項は、○ 印の付いたものを適用する。			
○ 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。			
○ 印と ⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。			
3）特記事項に記載の（ ） 内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。			
特記事項に記載の [] 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。			
特記事項に記載の (()) 内表示番号は、文科仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。			
特記事項に記載の [[]] 内表示番号は、文科改修仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。			
4） ⊗ 印は、「面等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（平成12年法律第100号）に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。			

	項目	特記事項																			
1	○ 通用区分	・ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・ 風圧力 風速 (Vw= 32 m/s) 地表面粗度区分 (・ Ⅰ ・ Ⅱ ○ Ⅲ ・ Ⅳ) ・ 積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表 (32) (1.3.3~4) [1.3.3~4] この工事現場に下記いずれかの資格を有する電気保安技術者を選任する。																			
	○ 電気保安技術者、工事用電力設備の保安責任者	<table><thead><tr><th>項目名</th><th>電気保安技術者</th></tr></thead><tbody><tr><td>1 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者</td><td>○</td></tr><tr><td>2 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者</td><td>○</td></tr><tr><td>3 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者</td><td>・</td></tr><tr><td>4 旧電気工事技術者検定規定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者</td><td>・</td></tr><tr><td>5 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者</td><td>・</td></tr><tr><td>6 第1種電気工事士の資格を有する者</td><td>・</td></tr><tr><td>7 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者</td><td>・</td></tr><tr><td>8 第2種電気工事士以上の資格を有する者</td><td>・</td></tr><tr><td>9 短冊大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者</td><td>・</td></tr></tbody></table> 工事用電力を横から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。	項目名	電気保安技術者	1 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	○	2 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者	○	3 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	・	4 旧電気工事技術者検定規定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	・	5 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	・	6 第1種電気工事士の資格を有する者	・	7 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者	・	8 第2種電気工事士以上の資格を有する者	・	9 短冊大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者
項目名	電気保安技術者																				
1 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	○																				
2 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者	○																				
3 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	・																				
4 旧電気工事技術者検定規定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	・																				
5 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	・																				
6 第1種電気工事士の資格を有する者	・																				
7 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者	・																				
8 第2種電気工事士以上の資格を有する者	・																				
9 短冊大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者	・																				
○ 施工条件	この工事現場では、次の施工条件による。 (1.3.5) [1.3.5] ●本建物を使用しながらの工事となるため、通付の外動線計画図・仮設計画図を参考に、建物内で行われる研究活動に影響を与えないようにも、工事中の騒音・振動、粉じん、安全等十分配慮すること。 ●本建物を使用しながらの工事となるため、漏水対策ならびに、出入口等の使用に配慮した安全対策を講ずること。 ●本工事建物周囲には、病棟や研究棟等が立地することを十分認識し、周辺への影響に配慮すると共に、安全にも十分配慮すること。 ●工所用地および工事用地周辺において適切な養生・清掃を行うこと。また、工事車両の搬出入等により周辺道路等に汚損、破損等した場合は速やかに対応すること。 ●騒音・振動・粉塵の発生する作業は、低騒音・低振動・低粉塵工法を採用すること。 ●臭気が発生する作業は、周囲に対して影響が少ない工法を採用すること。 ●学校行事・近隣地区行事を考慮して工事計画を立てること。 その他、学内行事等による作業の中止については、監督職員と協議すること。 ●工事車両の通行は交通整理員を配置する等、安全対策を講ずること。 ●その他建物内や敷地周囲に影響があると思われる作業については、監督職員と協議を行い進めること。 ●工所用地は、工事完成時には原状に復旧して返還すること。 ●工用地内の環境美化（草刈り等）に努めること。 ●構内実施中、又は実施が決定した他工事の乗客と連絡調整を密に行い、安全かつ円滑な工事の実施に努めること。 ●コンクリート壁・スラブ・設備基礎躯体等の騒音・振動、粉じんの発生する作業、及びエレベーターホールや地下駐車場の工事による騒音、日照日、視界に制限し、共用部については、平日は安全に通行できるように覆田すること。 ●第一臨床研究棟は令和6年10月1日竣工とする。																				

工事名称	京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・Ⅰ期）改修工事	縮尺	A 1 : - A 3 : -	図面番号
図面名称	改修特記仕様書（抜粋）	令和 6 年 6 月		
				特 1

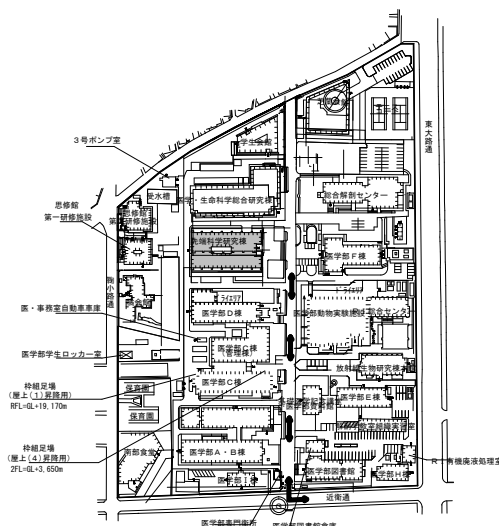
1 工事施工上の注意事項

- 1) 車庫進行路の通行、回車の通しと、監督職員と協議の上、誘導員等を配置し、交通整理を行うこと。工事車両は両道直進のみの違法駐車は行わないこととし、また路上に縦列待機させることは行わないこと。
- 2) 工事開始日直前の朝通しと、危険防止のための関係車両の出入りができないようにすること。また、工事関係車両（通車路を走行しない）は工事用地内に駐車することとし、構内の駐車エリア、道路及び空地の駐車は行わないこと。
- 3) 学校行事、近隣地区行事等を避けて工事開始日を立てること。
- 4) 撤去工事の進行中である等、撤去等がある場合は、あらかじめ監督職員に日時を連絡し、承認を経て工事を進めること。また、撤去中の妨害対策を十分に検討し行うこと。
- 5) 病院や学校、教職員、学生等の通行が頻繁なため、構内車両通行には十分注意するよう指導を行うこと。
- 6) 環境安全を発生しない時は、たちまち工事を中止し、監督職員の指示を待てること。
- 7) 工事場所内で火気などの適切な取扱いの必要な設備を設置することとし、工事関係者に対し、火気等の取り扱いに十分注意するよう指導を行うこと。
- 8) 地中埋設物を発見した時は、監督職員と協議の上撤去し、道正処分すること。
- 9) 工事開始日、工事完成時に現状に復旧して返還すること。
- 10) 構内実業中、又は実業が決定した工事の発生と連絡調整を密に行い、安全かつ円滑な工事の実現を図ること。
- 11) 作業時間中は、午前9時から午後5時まで作業を行う。騒音、振動、粉じんの発生する作業、及び地下へ、エレベーターホール等の施工は日中の作業とする。
- 12) 構内における喫煙については、監督職員と協議のうえ、健康増進法（平成十四年法律第三十三号）に基づく禁煙対策を講ずることとする。

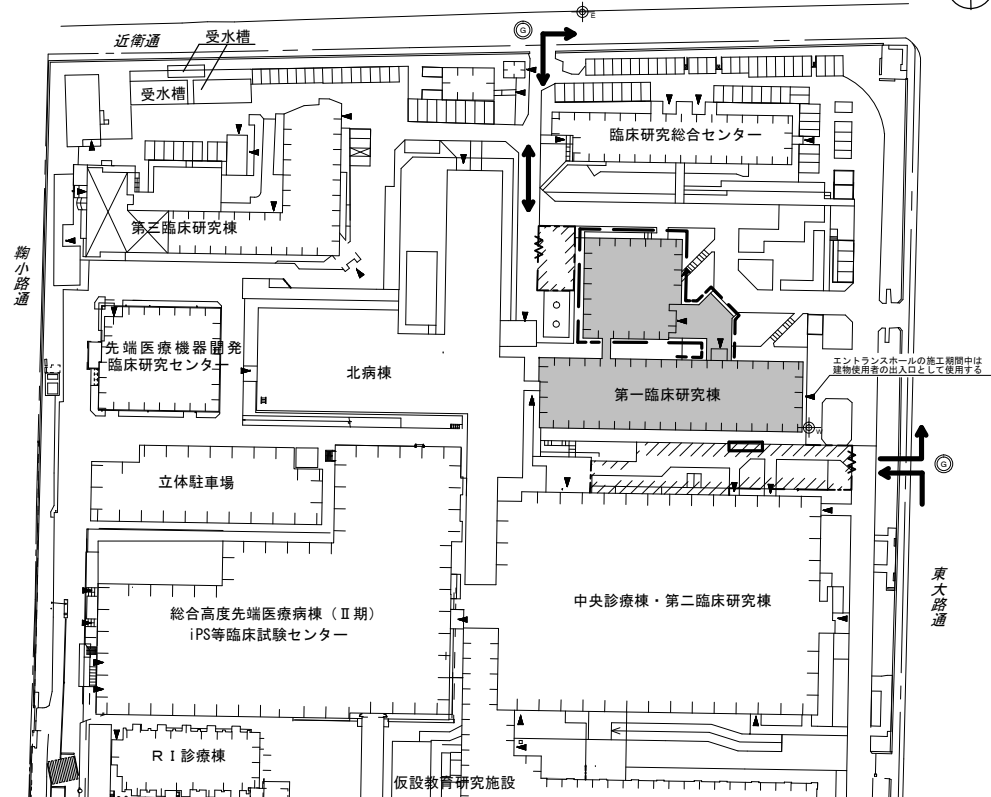
2 工事中の構内安全対策について

工事中の構内安全対策については、下記事項を十分留意した上、具体的な安全対策等を立案し、監督職員と協議の上、承諾を受けるものとする。

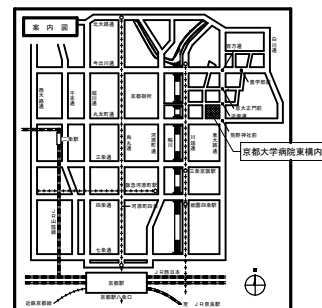
- ① 監督官等と協働の上、構内や構外に工事予告板、警戒標識板、交通規制標識板、工事表示板等を設置し、常に良好な状態を確保すること。
- ② 掘削時や急峻な地形などのある箇所には、安全帽、工事中表示板（点滅灯）を、夜間は反射板や黄色い照明灯を設置し、周囲の注意を確保すること。
- ③ 構内通行の安全及び騒音防止のため工事車両はマナー等により必要に応じて養生を行うこと。
- ④ 大規模の構内通行時には、集中検閲機、カメラ等による必要に応じて養生を行うこと。
- ⑤ 構内の安全確保には作業の進捗状況によっては交通安全監視員を増加員とし、誘導・交通整理等に協力する必要があるとする。
- ⑥ 掘削現場では、掘削機等の稼働音が大きい場合は、常設灯よりコーナードに透明ノベル光を使用するなど注意喚起を図ること。
- ⑦ バスラックでは乗客が乗り降き時に危険を感じるような状況にならないように努めること。








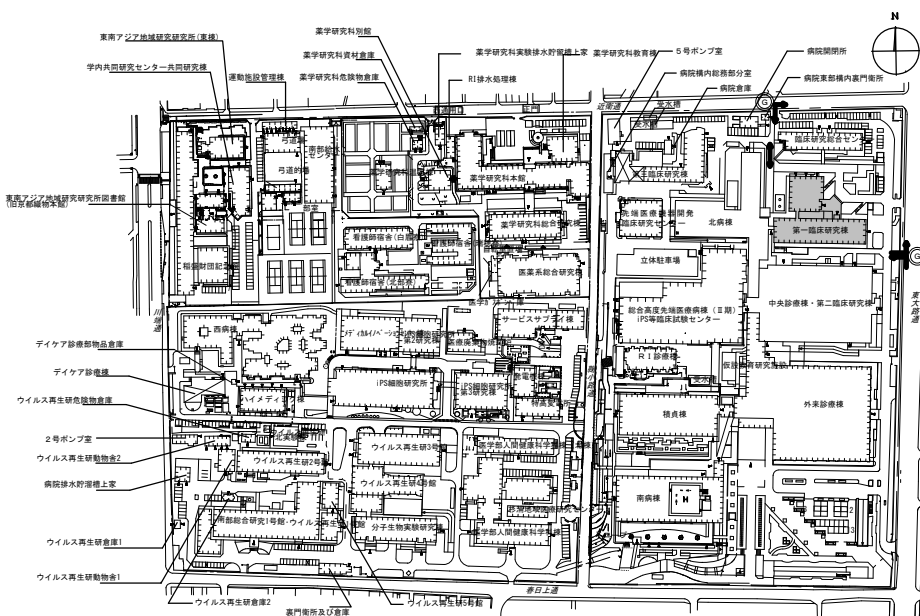
医学部構内配置図 A3 : S=1/1,000 A1 : S=1/2,000





詳細配置図 A3 : S=1/350 A1 : S=1/700



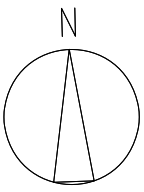
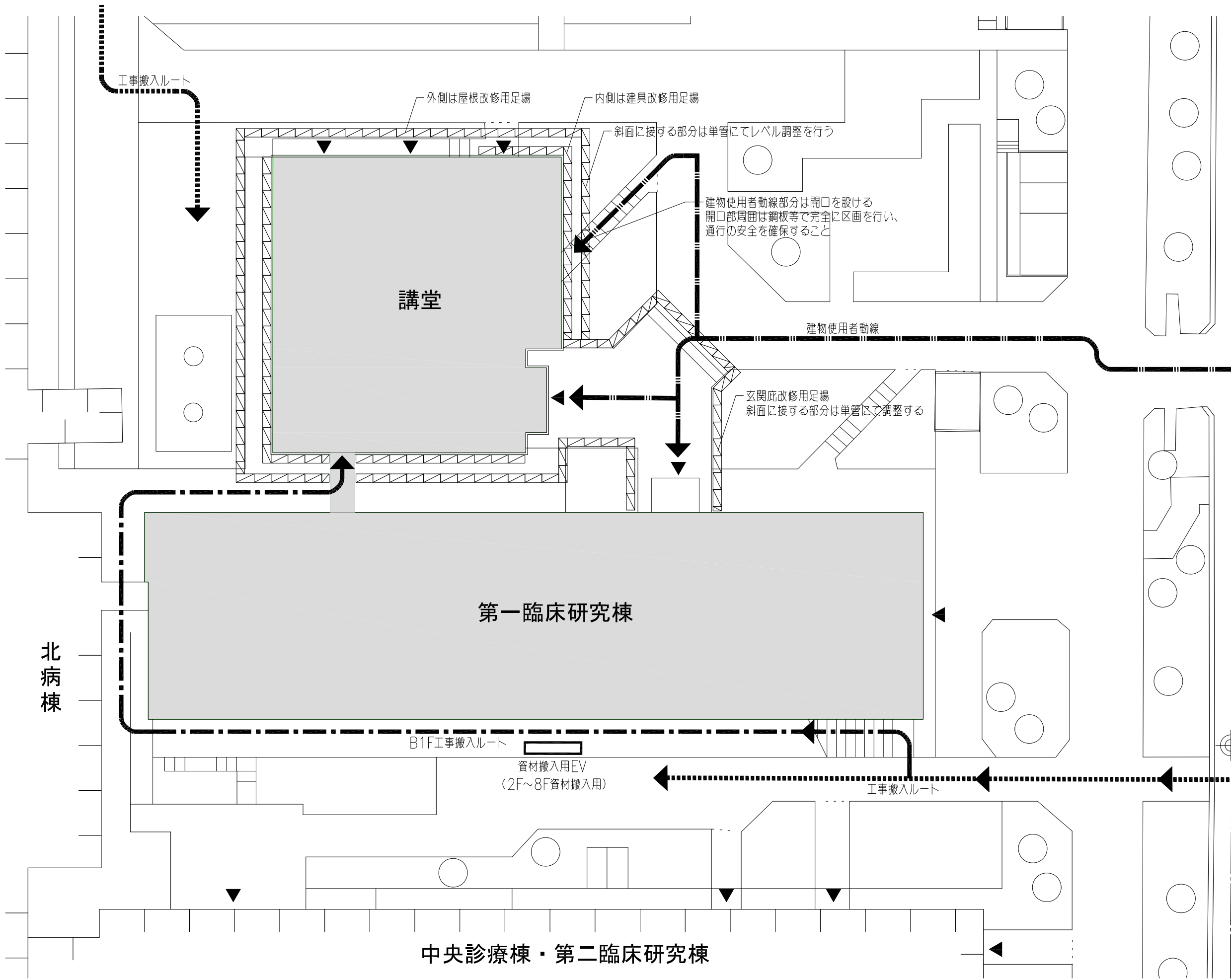
凡 例	
	本工事範囲
	工事用地
	既存建物
	交通整理員（常時 1 名 大型車両通行時 2 名）
	工事用車両通行経路
	工事用給水分岐位置
	工事用電気引込位置（構外より）
	仮囲い：パネル鋼板 H=3,000 L=124m
	パネルゲート：2 箇所 W=5.4m 程度
	養生シート張り 外枠部組本足場 H=建物高さまで（詳細設計図面を参照すること） ※出入口部は鋼等継付と施設 ※地上部は足場内侵入対策を行うこと
	建物使用出入口 ※建物出入口上部に朝顔等を設置し、工事中安全に通行できる使用者の動線を確保すること
	資材搬入用エレベーター



病院構内配置図 A3 : S=1/1,000 A1 : S=1/2,000

凡 例		凡例	
	本工事位置		交通整理員（常時3名）
	別途工事建物		工事用車両進入経路（利用期間については外部仮設設計面図(1)～(6)を参照すること）
			既存建物

工事名	京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・Ⅰ期）改修工事		図面番号
図面名称	縮尺	設計日	1
現場説明付記事項・配置図・詳細配置図	図示	令和6年6月	



東大路通

交通誘導員

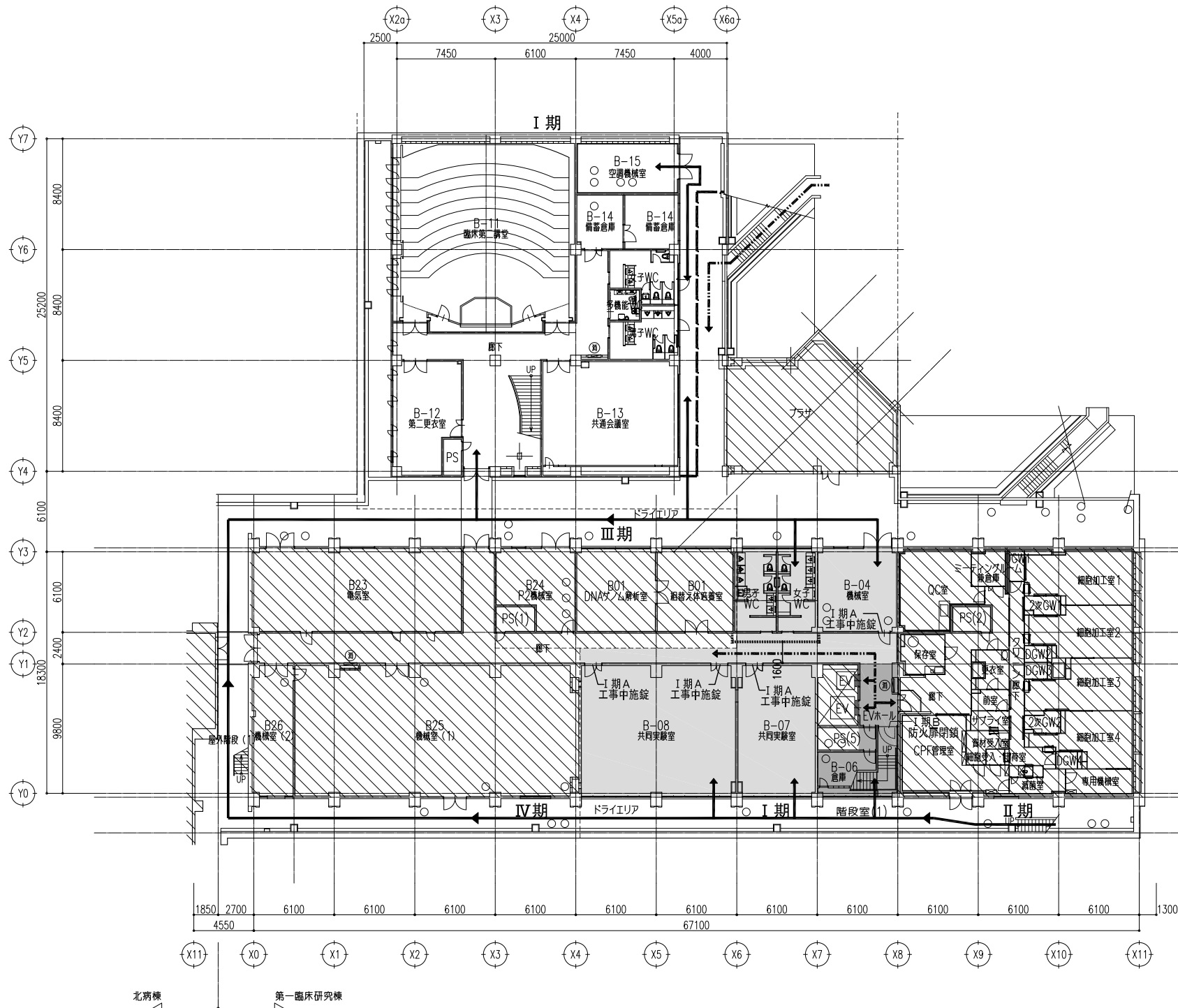
凡 例	
	改修工事建物を示す
	工事施工者動線（車両）を示す
	工事施工者動線（人）を示す
	建物使用者動線を示す
	交通誘導員を示す
	工事外部足場防音パネル共 900枠

北病棟

中央診療棟・第二臨床研究棟



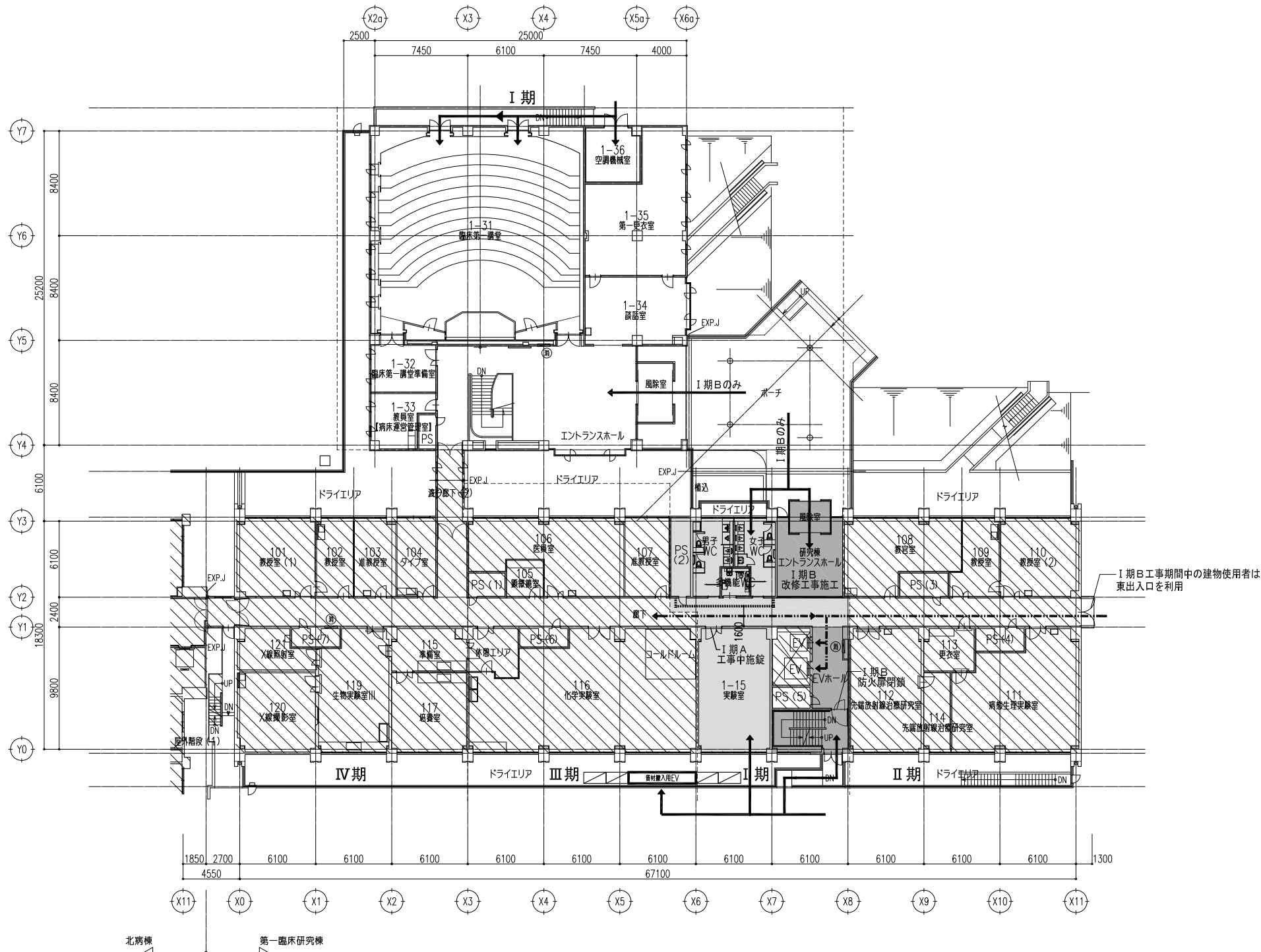
地階 平面図



凡例	
	本工事範囲外を示す
	I 期 A 令和6年10月～令和7年2月上旬（約4か月半） 工事動線として、E V、階段は使用不可 廊下改修は土日にて施工
	I 期 B 令和7年2月上旬～3月上旬（約1か月） 工事動線として、E Vは使用不可 E Vホール改修は土日にて施工 非常時のみ階段防火扉を開けて建物使用者が 階段を避難に利用できるようにする
	仮設間仕切り壁（I 期 A） （LGS65+PBt12.5片面裏りEP 天井裏マテ）
	工事施工者動線を示す
	建物使用者動線を示す
	フェンスバリケード（H=1800） 外部建具改修時に設置する 設置時期は監督員と協議の上、決定すること
	期C 令和6年10月～令和7年3月上旬



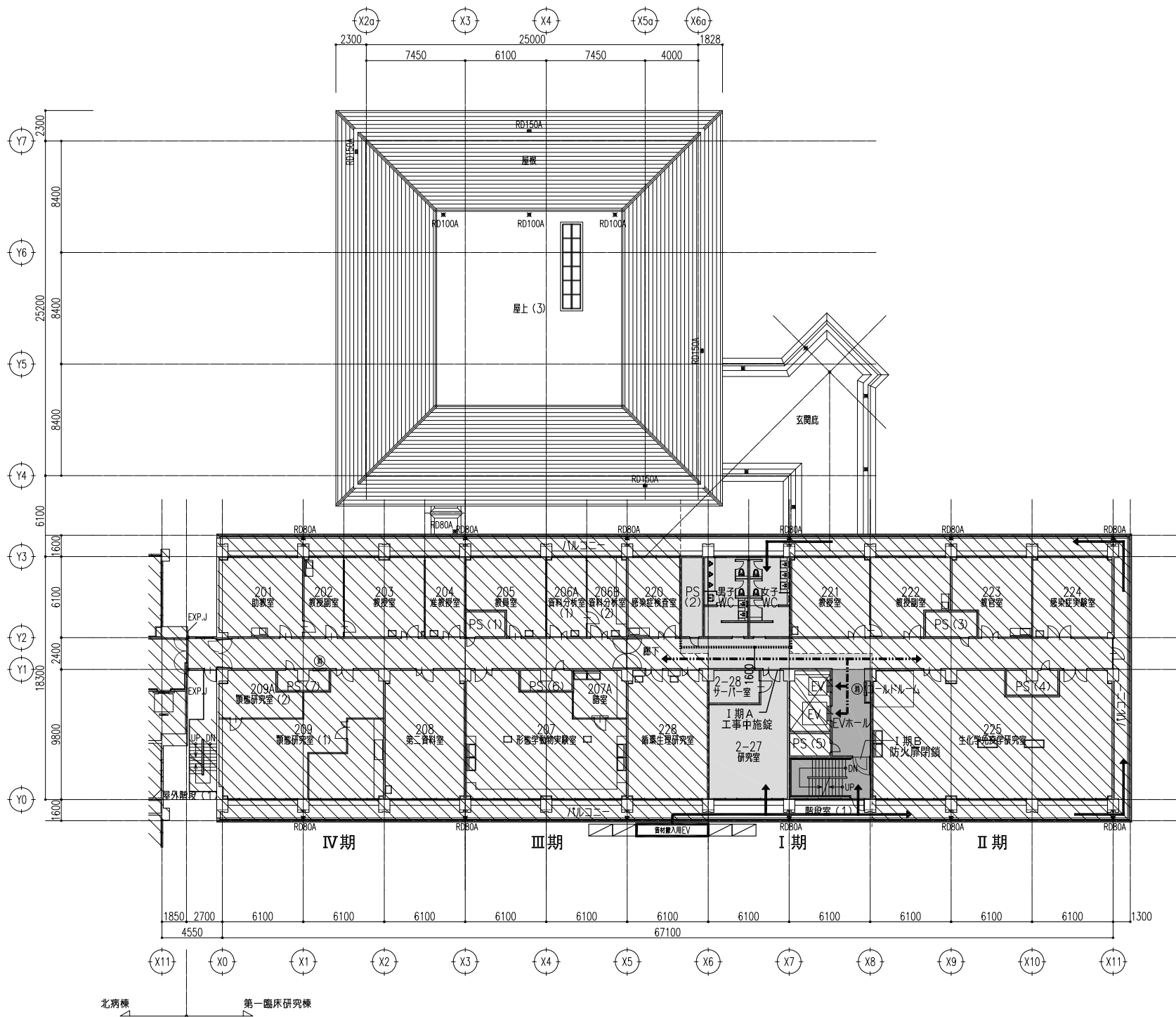
1階 平面図



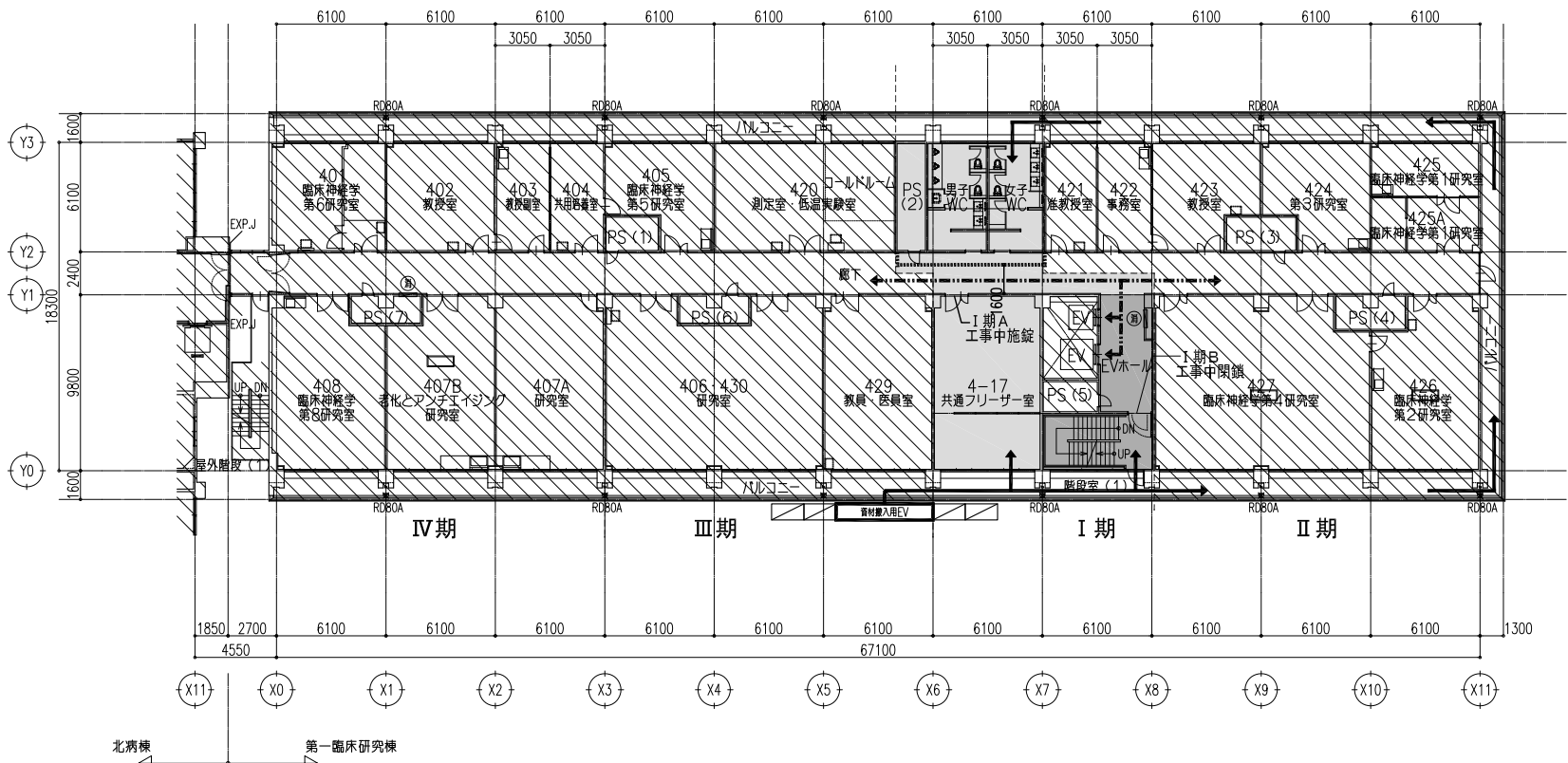
凡例	
	本工事範囲外を示す
	I期A 令和6年10月～令和7年2月上旬（約4か月半） 工事動線として、E V、階段は使用不可 廊下改修は土日にて施工
	I期B 令和7年2月上旬～3月上旬（約1か月） 工事動線として、E Vは使用不可 E Vホール改修は土日にて施工 非常時のみ階段防火扉を開けて建物使用者が 階段を避難に利用できるようにする
	仮設間仕切り壁（I期A） （LGS65+Pbt12.5片面張りEP 天井音マア）
	工事施工者動線を示す
	建物使用者動線を示す
	期C 令和6年10月～令和7年3月上旬



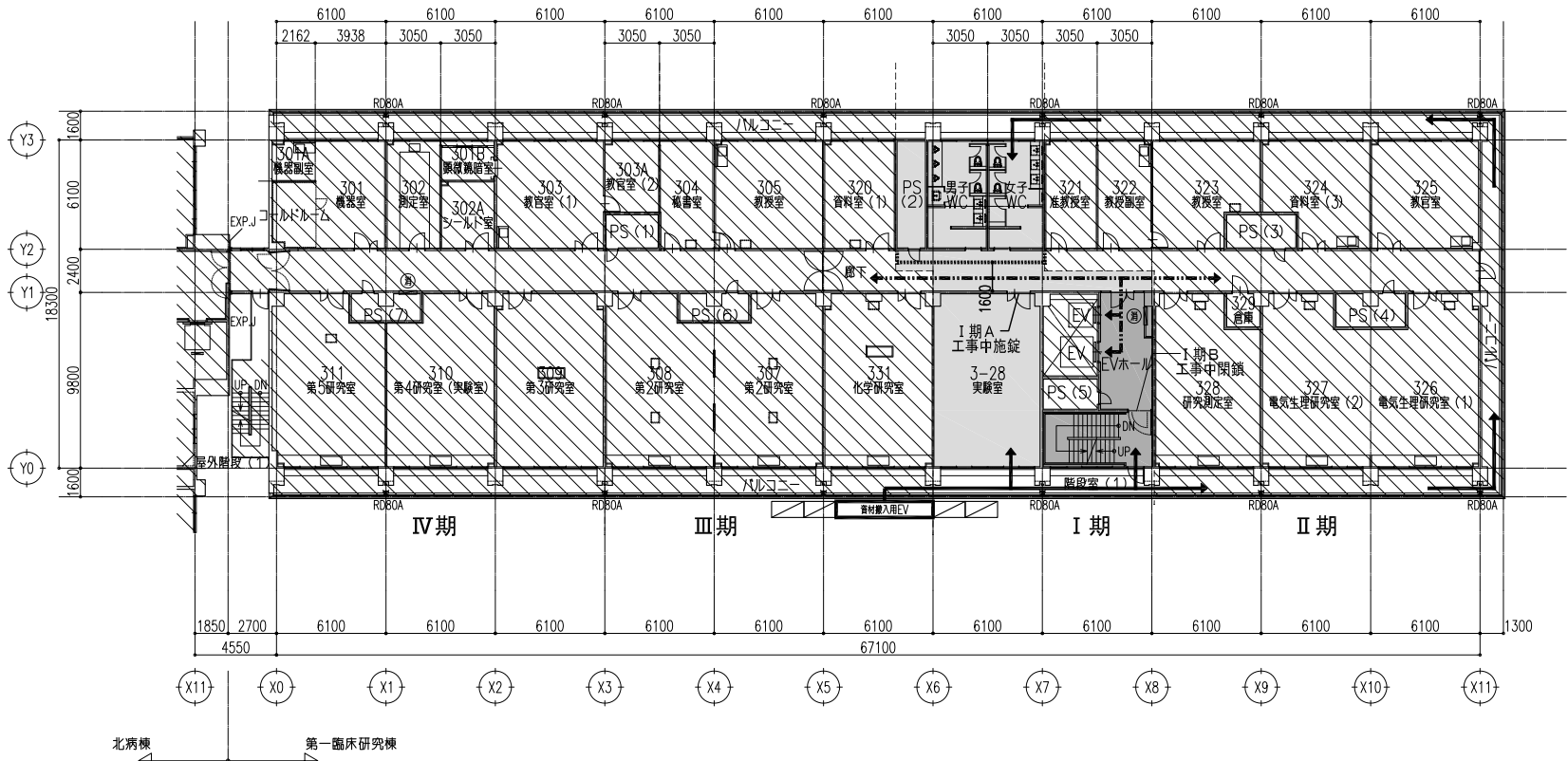
2階 平面図



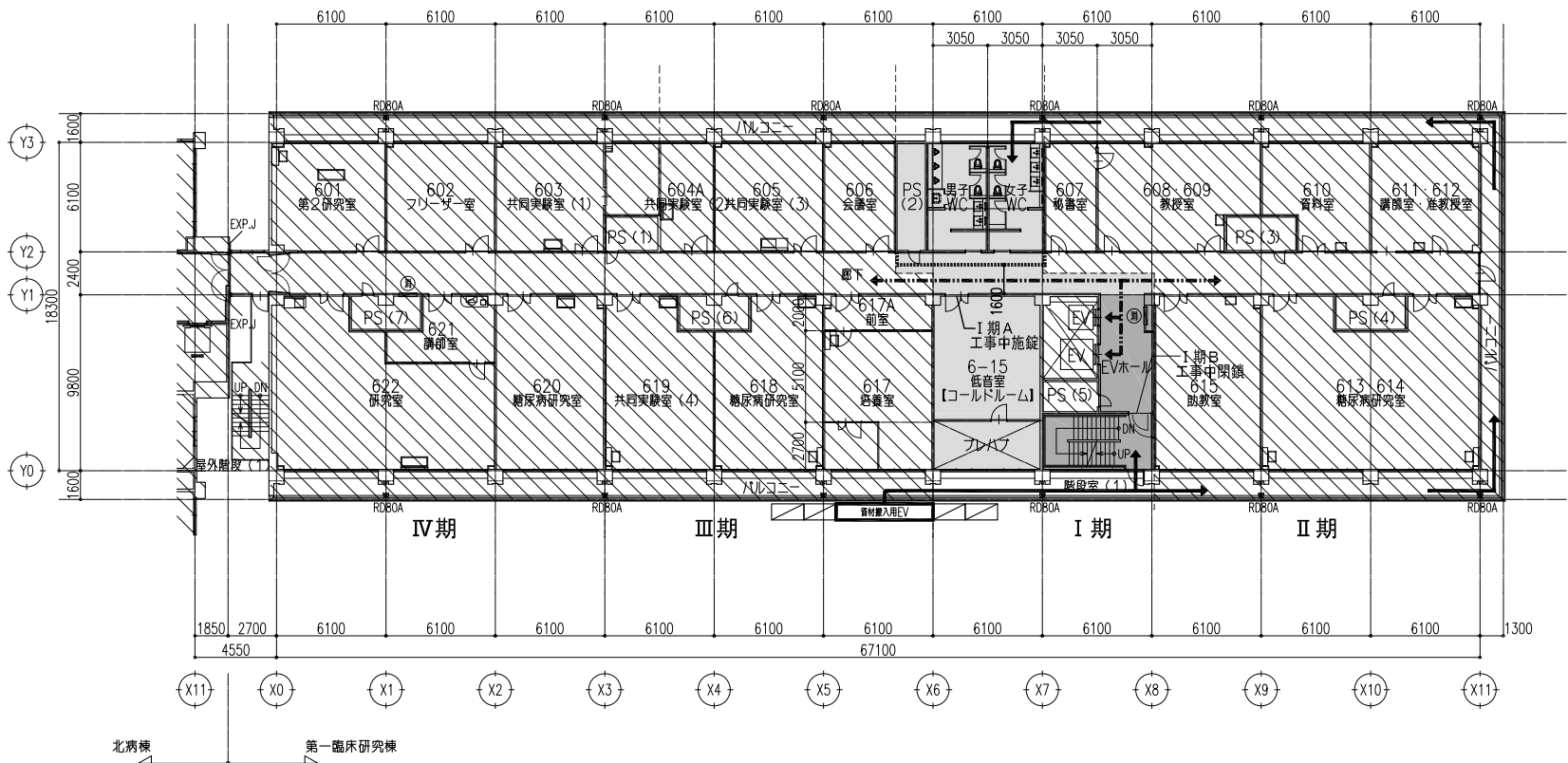
凡例	
	本工事範囲外を示す
	I期A 令和6年10月～令和7年2月上旬(約4か月半) 工事動線として、EV、階段は使用不可 廊下改修は土日にて施工
	I期B 令和7年2月上旬～3月上旬(約1か月) 工事動線として、EVは使用不可 EVホール改修は土日にて施工 非常時のみ階段防火扉を開けて建物使用者が 階段を避難に利用できるようにする
	仮設間仕切り壁(I期A) (LGS65+PBT12.5片面張りEP 天井垂マア)
	工事施工者動線を示す
	建物使用者動線を示す



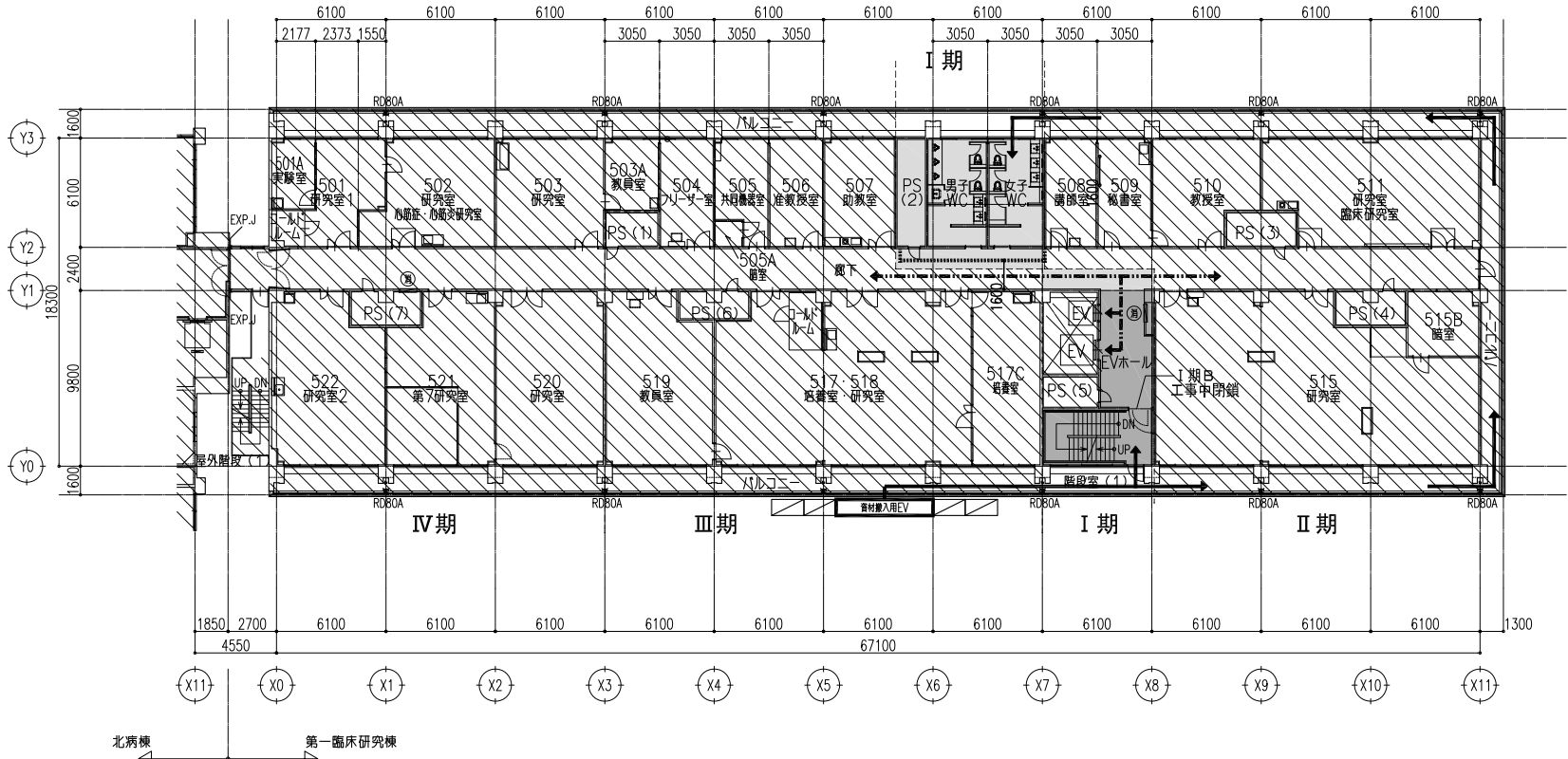
凡例	
	本工事範囲外を示す
	I期A 令和6年10月～令和7年2月上旬（約4カ月半） 工事動線として、E.V.、階段は使用不可 廊下改修は土日にて施工
	I期B 令和7年2月上旬～3月上旬（約1カ月） 工事動線として、E.V.は使用不可 E.V.ホール改修は土日にて施工 非常時のみ階段防火扉を開けて建物使用者が 階段を避難に利用できるようにする
	仮設間仕切り壁（I期A） （LGS65+PBt12.5片面張りEP 天井面マテ）
	工事施工者動線を示す
	建物使用者動線を示す



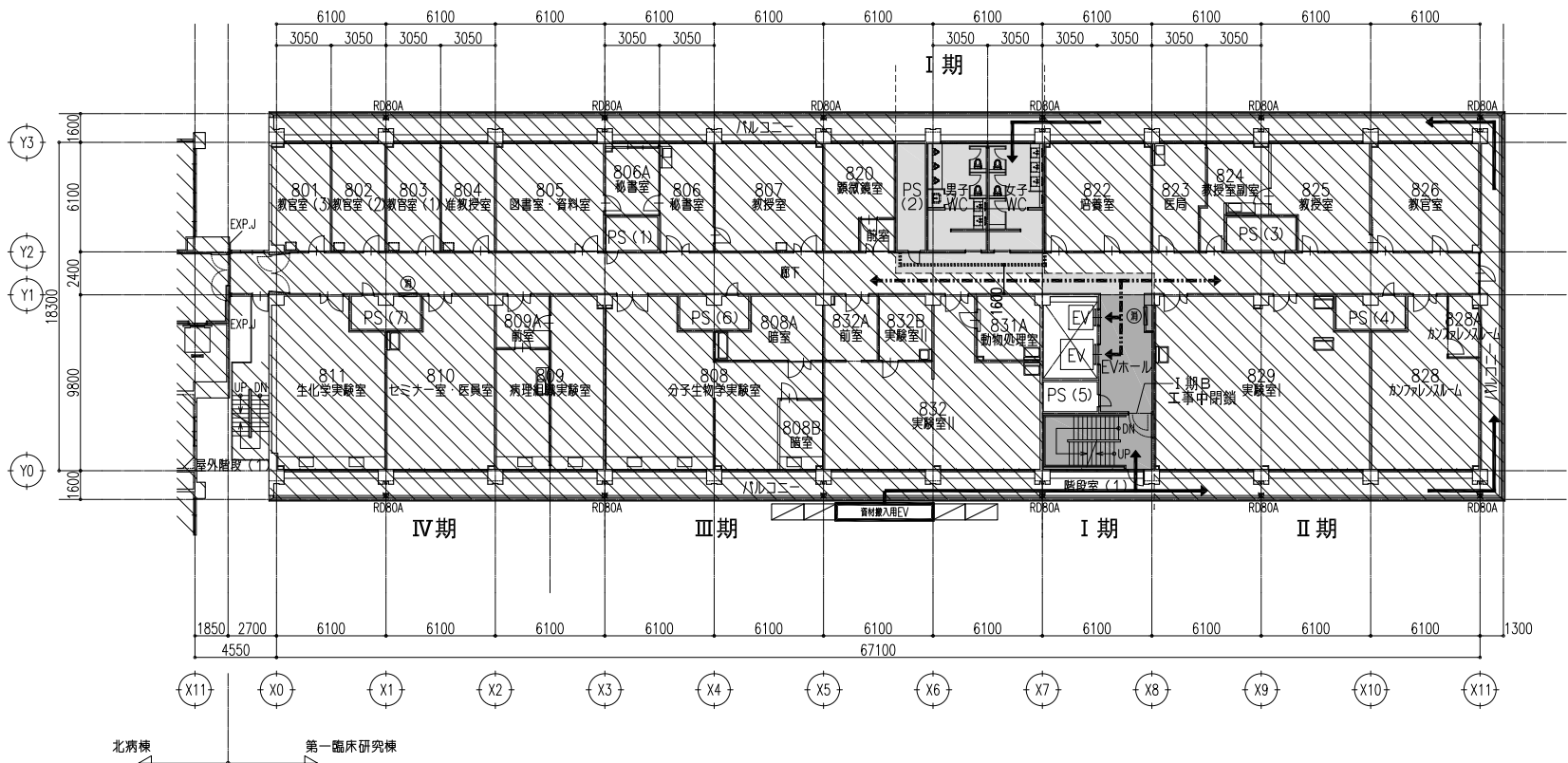
凡例	
	本工事範囲外を示す
	I期A 令和6年10月～令和7年2月上旬（約4カ月半） 工事動線として、E.V.、階段は使用不可 廊下改修は土日にて施工
	I期B 令和7年2月上旬～3月上旬（約1カ月） 工事動線として、E.V.は使用不可 E.V.ホール改修は土日にて施工 非常時のみ階段防火扉を開けて建物使用者が 階段を避難に利用できるようにする
	仮設間仕切り壁（I期A） （LGS65+PBt12.5片面張りEP 天井面マテ）
	工事施工者動線を示す
	建物使用者動線を示す



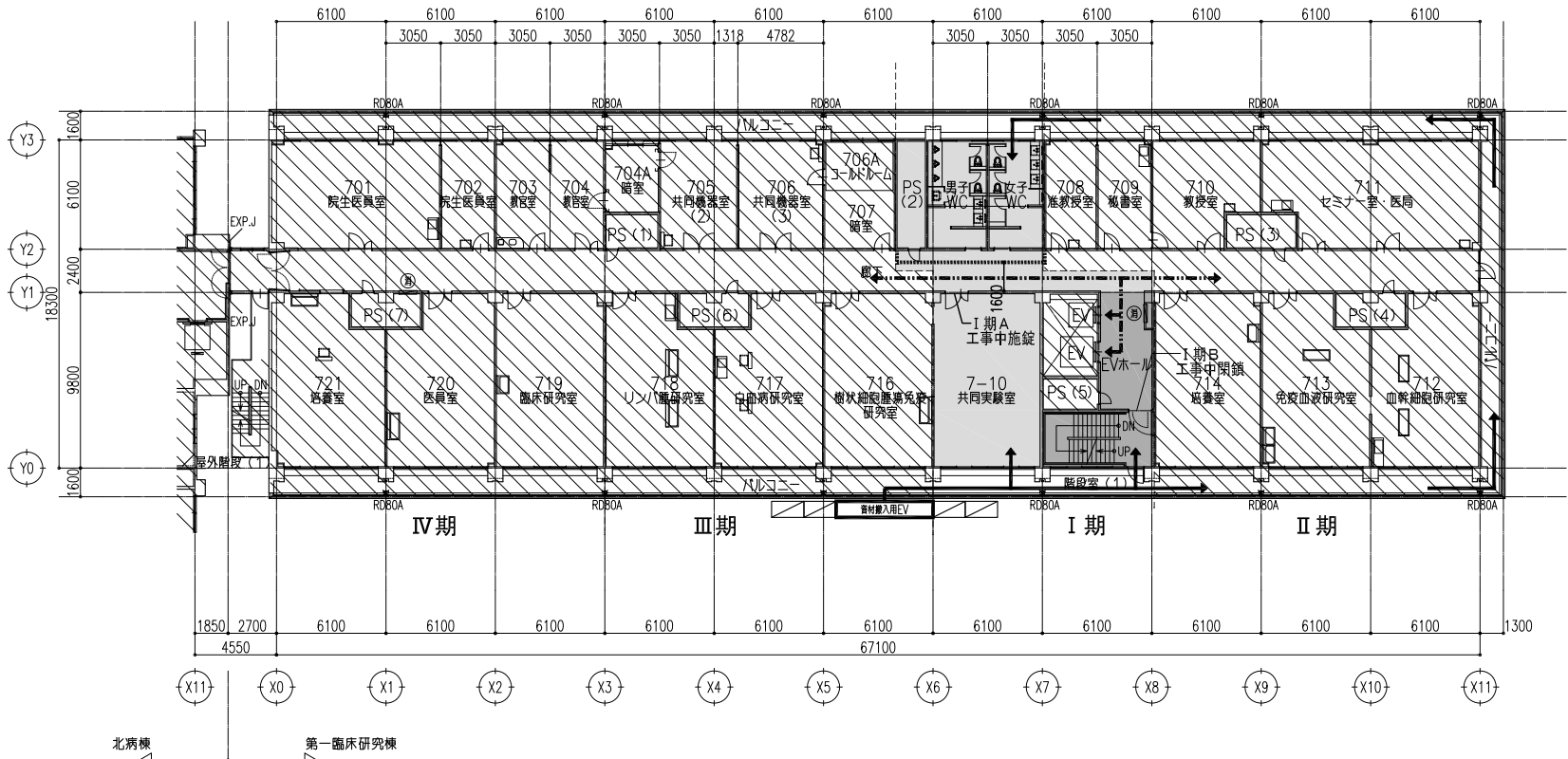
凡例	
	本工事範囲外を示す
	I期A 令和6年10月～令和7年2月上旬(約4カ月半) 工事動線として、E.V.、階段は使用不可 廊下改修は土日にて施工
	I期B 令和7年2月上旬～3月上旬(約1カ月) 工事動線として、E.V.は使用不可 E.V.ホール改修は土日にて施工 非常時のみ階段防火扉を開けて建物使用者が 階段を避難に利用できるようにする
	仮設間仕切り壁(I期A) (LGS65+PBt12.5片面張りEP 天井面マテ)
	工事施工者動線を示す
	建物使用者動線を示す



凡例	
	本工事範囲外を示す
	I期A 令和6年10月～令和7年2月上旬(約4カ月半) 工事動線として、E.V.、階段は使用不可 廊下改修は土日にて施工
	I期B 令和7年2月上旬～3月上旬(約1カ月) 工事動線として、E.V.は使用不可 E.V.ホール改修は土日にて施工 非常時のみ階段防火扉を開けて建物使用者が 階段を避難に利用できるようにする
	仮設間仕切り壁(I期A) (LGS65+PBt12.5片面張りEP 天井面マテ)
	工事施工者動線を示す
	建物使用者動線を示す



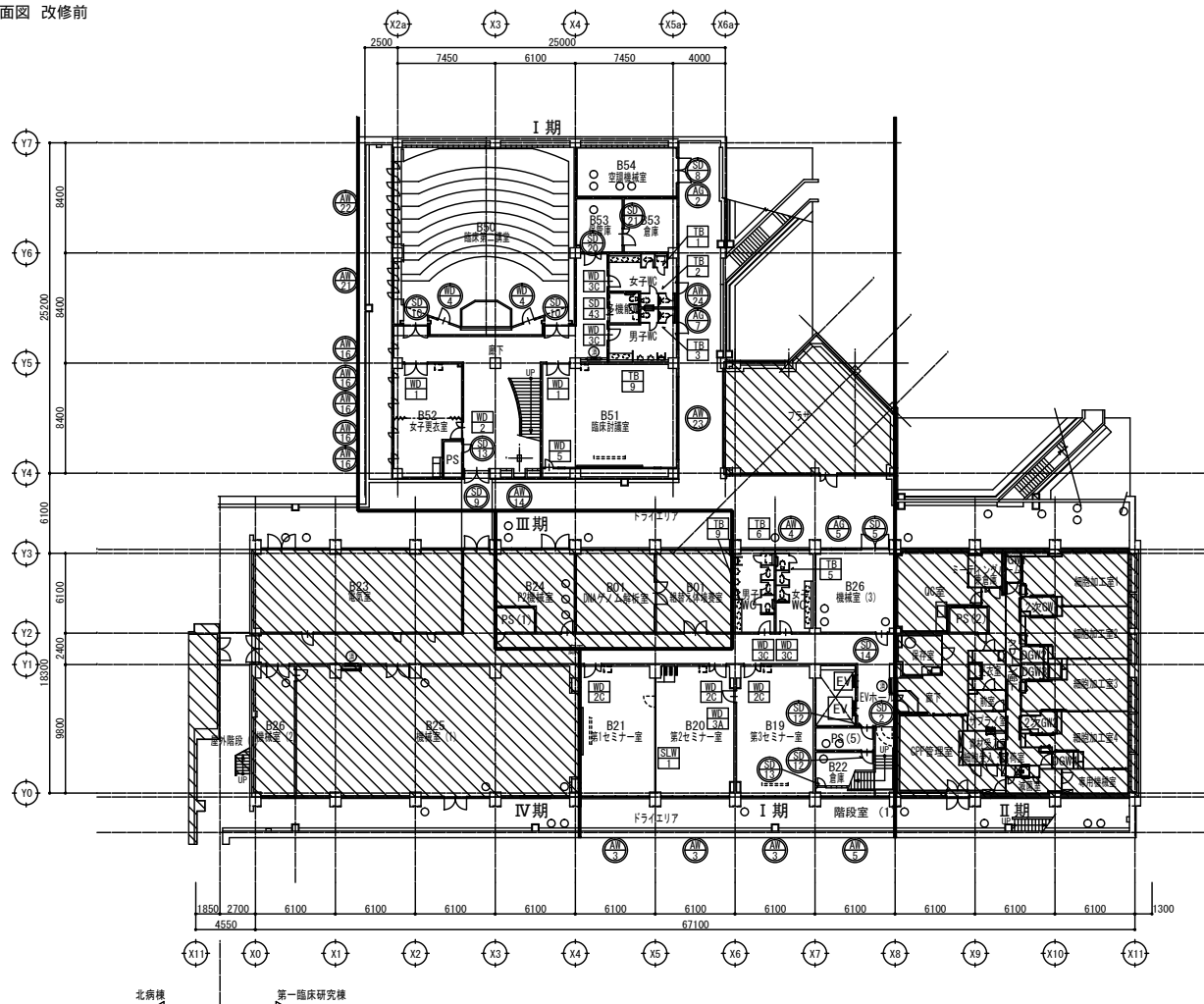
凡例	
	本工事範囲外を示す
	I期A 令和6年10月～令和7年2月上旬（約4カ月半） 工事動線として、E.V.、階段は使用不可 廊下改修は土日にて施工
	I期B 令和7年2月上旬～3月上旬（約1カ月） 工事動線として、E.V.は使用不可 E.V.ホール改修は土日にて施工 非常時のみ階段防火扉を開けて建物使用者が 階段を避難に利用できるようにする
	仮設間仕切り壁（I期A） （LGS65+PBt12.5片面張りEP 天井面マテ）
	工事施工者動線を示す
	建物使用者動線を示す



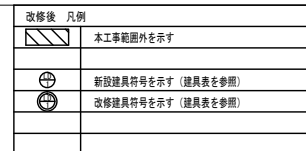
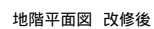
凡例	
	本工事範囲外を示す
	I期A 令和6年10月～令和7年2月上旬（約4カ月半） 工事動線として、E.V.、階段は使用不可 廊下改修は土日にて施工
	I期B 令和7年2月上旬～3月上旬（約1カ月） 工事動線として、E.V.は使用不可 E.V.ホール改修は土日にて施工 非常時のみ階段防火扉を開けて建物使用者が 階段を避難に利用できるようにする
	仮設間仕切り壁（I期A） （LGS65+PBt12.5片面張りEP 天井面マテ）
	工事施工者動線を示す
	建物使用者動線を示す



地階平面図 改修前

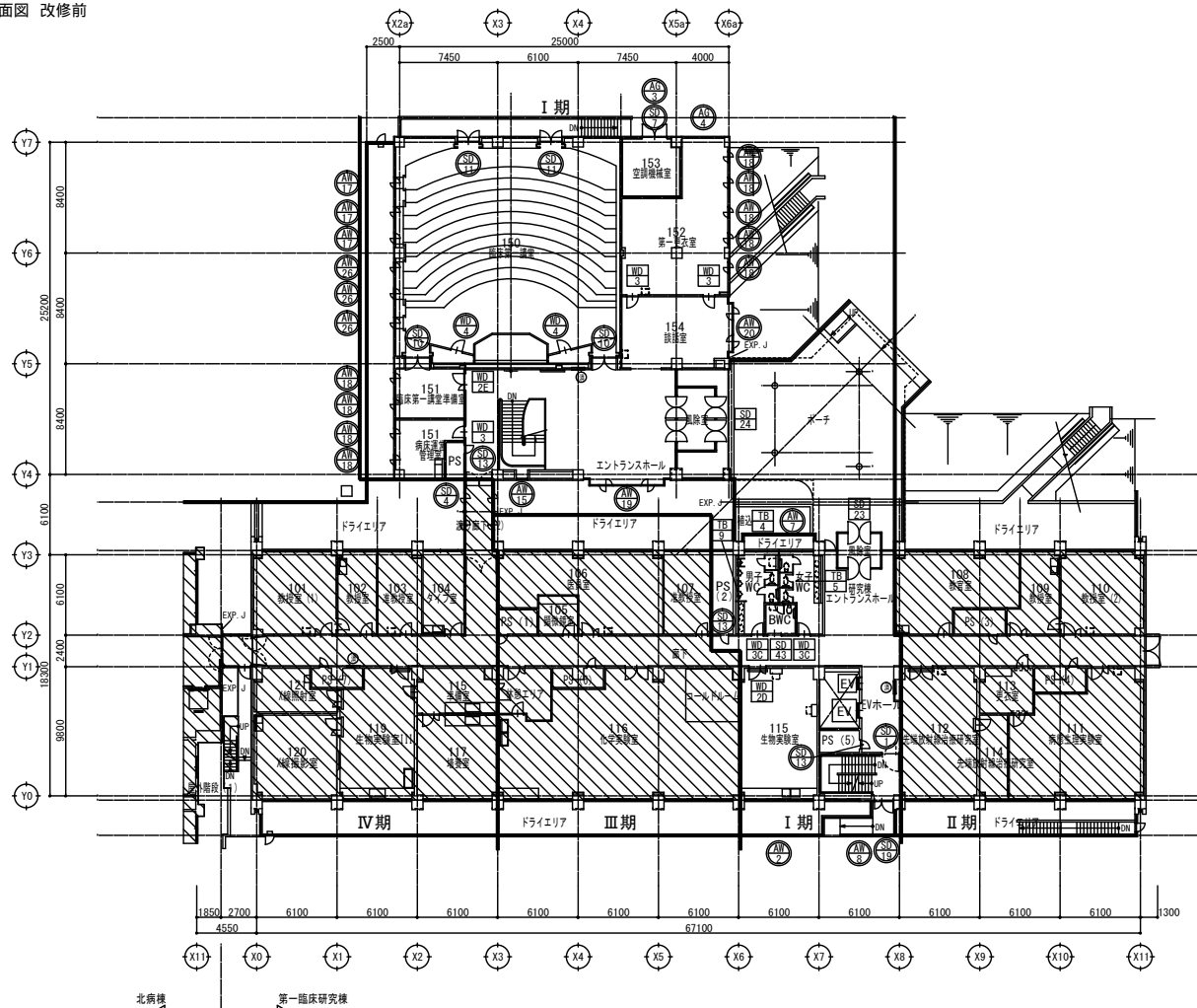


改修前 凡例	
	本工程範囲外を示す
	撤去建具符号を示す (建具表を参照)
	改修建具符号を示す (建具表を参照)





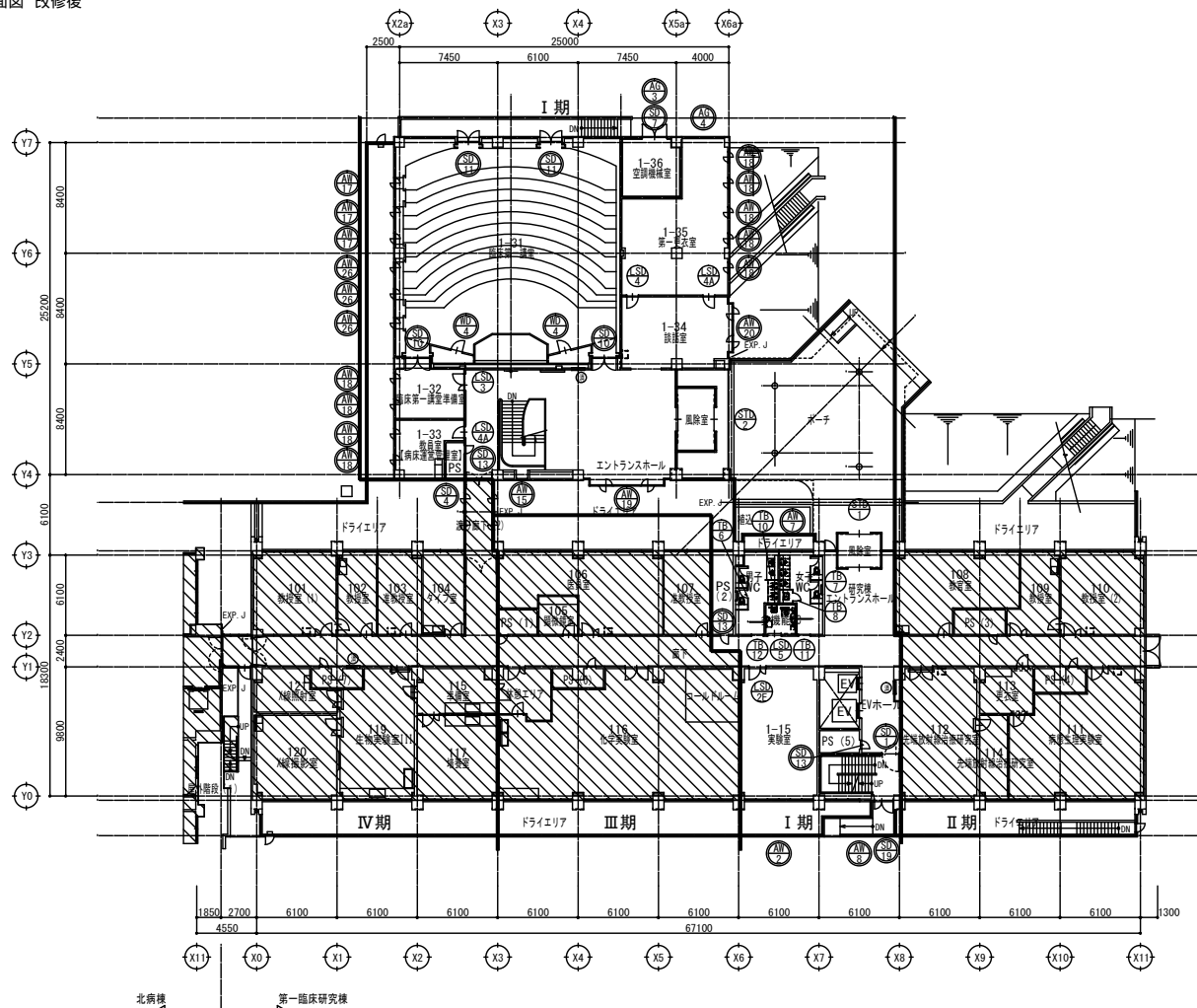
1階平面図 改修前



改修前 凡例	
	本工程範囲外を示す
	撤去建具符号を示す (建具表を参照)
	改修建具符号を示す (建具表を参照)



1階平面図 改修後

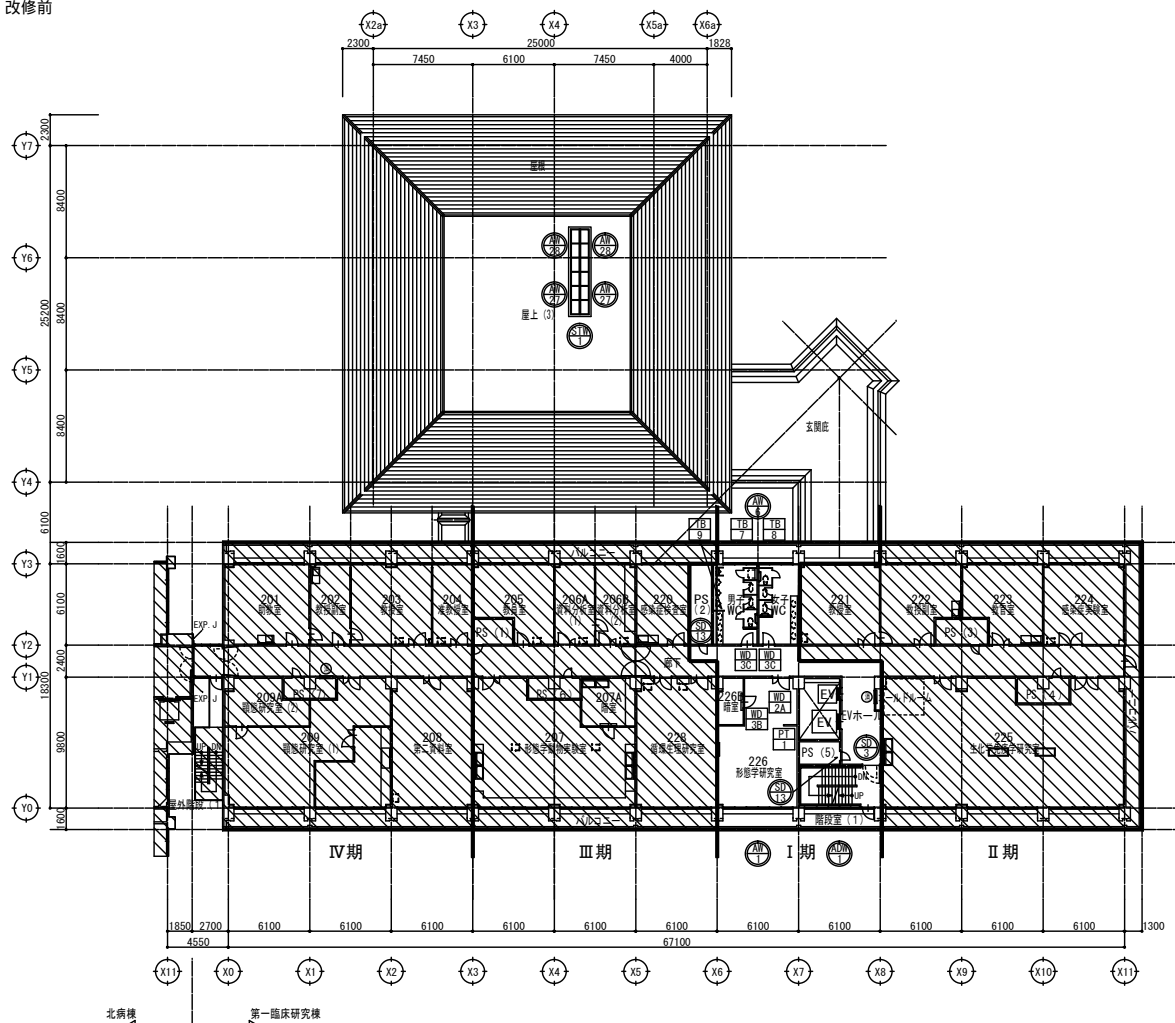


改修後 凡例	
	本工程範囲外を示す
	新設建具符号を示す (建具表を参照)
	改修建具符号を示す (建具表を参照)

工事名 京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・I期）改修工事			図面番号
図面名称 第一臨床研究棟 平面図	縮尺	A1: 1/200 A3: 1/400	12
	設計日	令和6年6月	

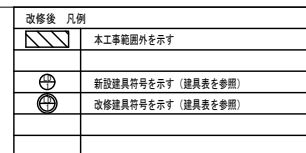
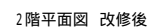


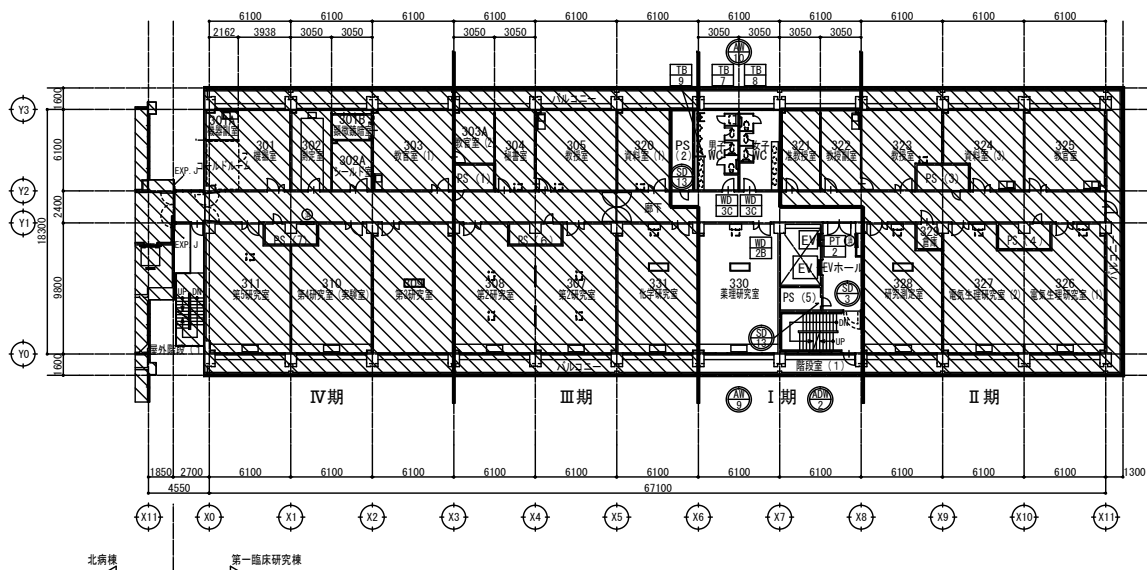
2階平面図 改修前



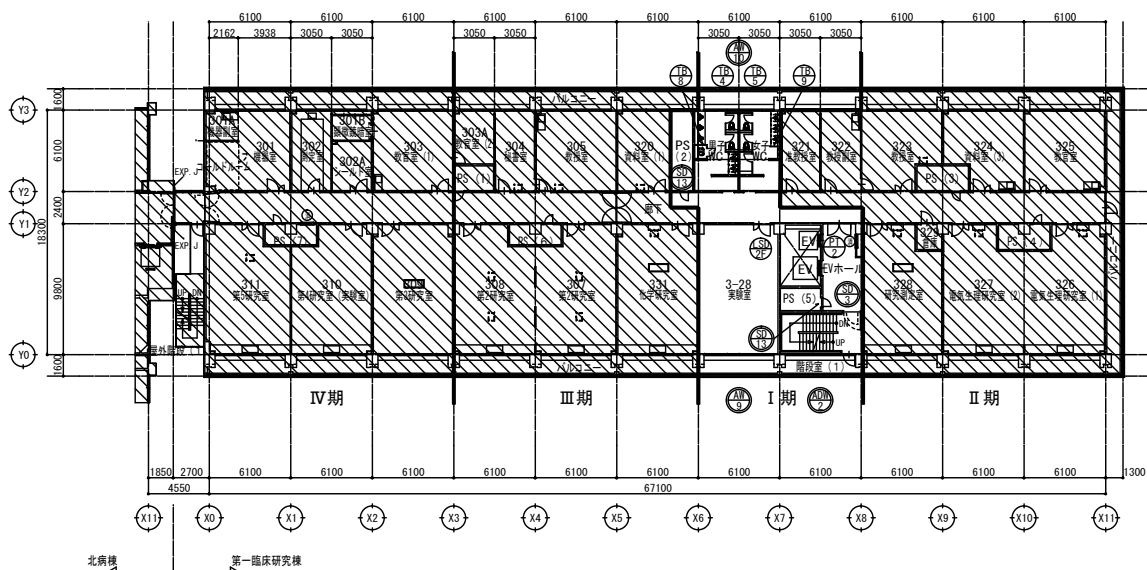
改修前 凡例	
	本工程範囲外を示す
	撤去建具符号を示す (建具表を参照)
	改修建具符号を示す (建具表を参照)

工事名 京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・I期）改修工事			図面番号
図面名称 第一臨床研究棟 平面図	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	設計日 令和6年6月	13



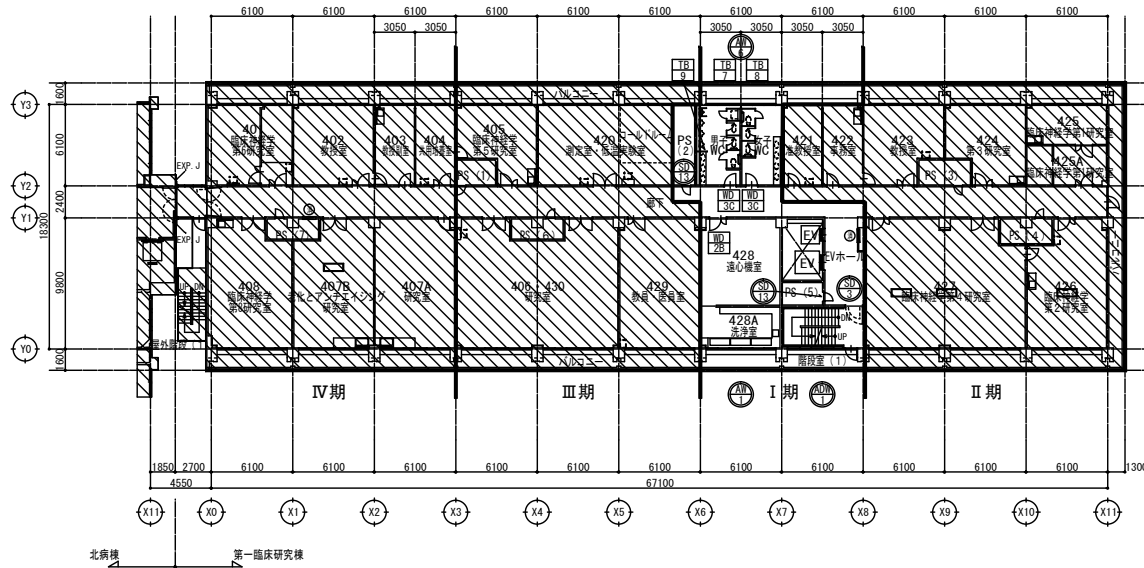


改修前 凡例	
	本工程範囲外を示す
	撤去建具符号を示す (建具表を参照)
	改修建具符号を示す (建具表を参照)
	新設建具符号を示す (建具表を参照)

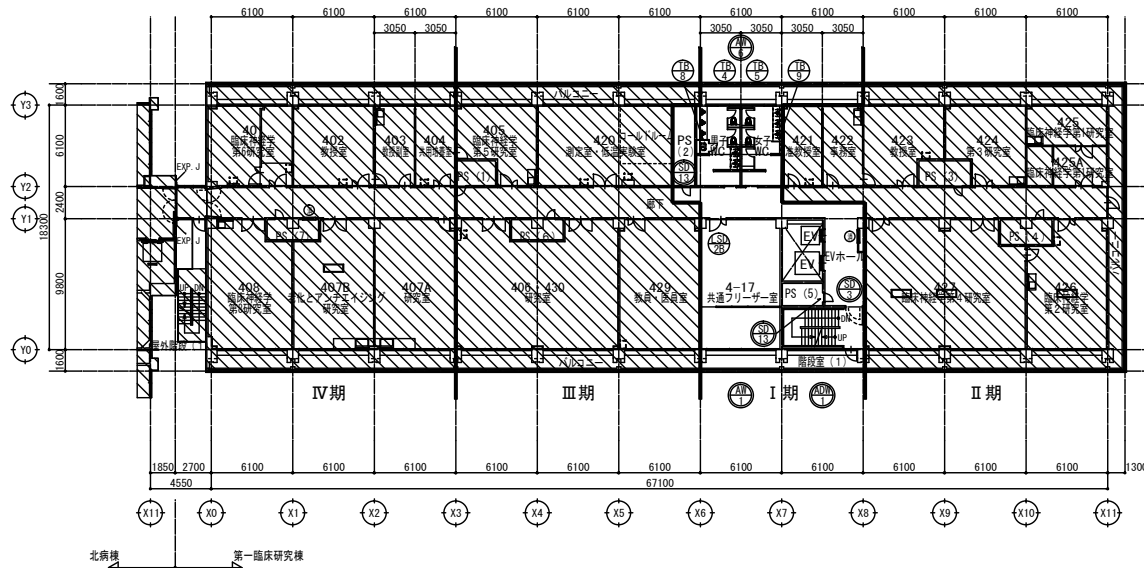


改修後 凡例	
	本工程範囲外を示す
	撤去建具符号を示す (建具表を参照)
	改修建具符号を示す (建具表を参照)
	新設建具符号を示す (建具表を参照)

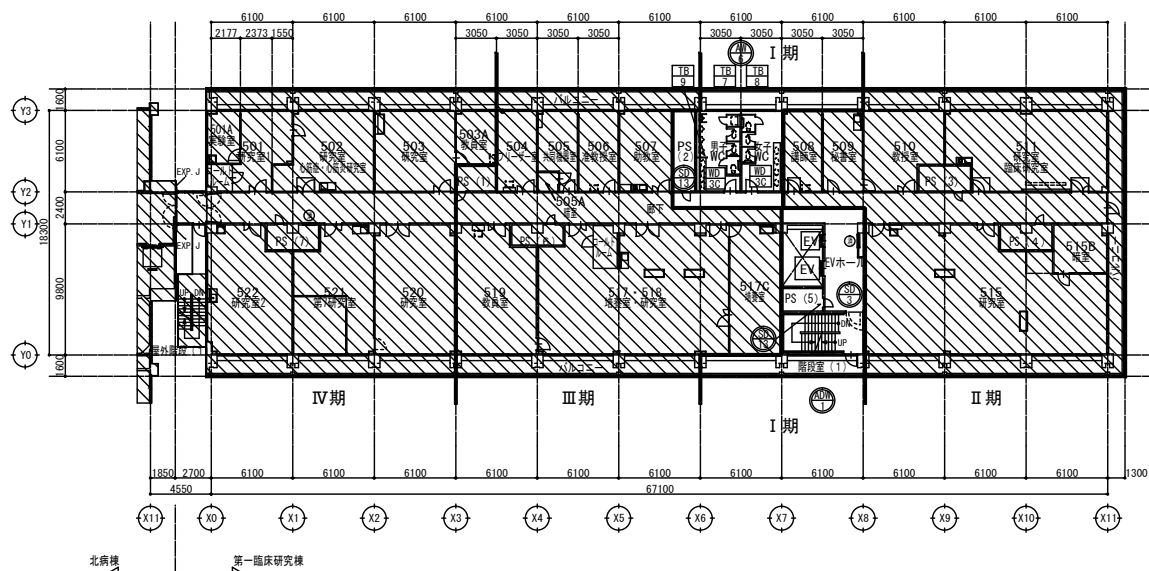
工事名 京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・1期）改修工事			図面番号
図面名称 第一臨床研究棟 平面図	縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	設計日 令和6年6月	15








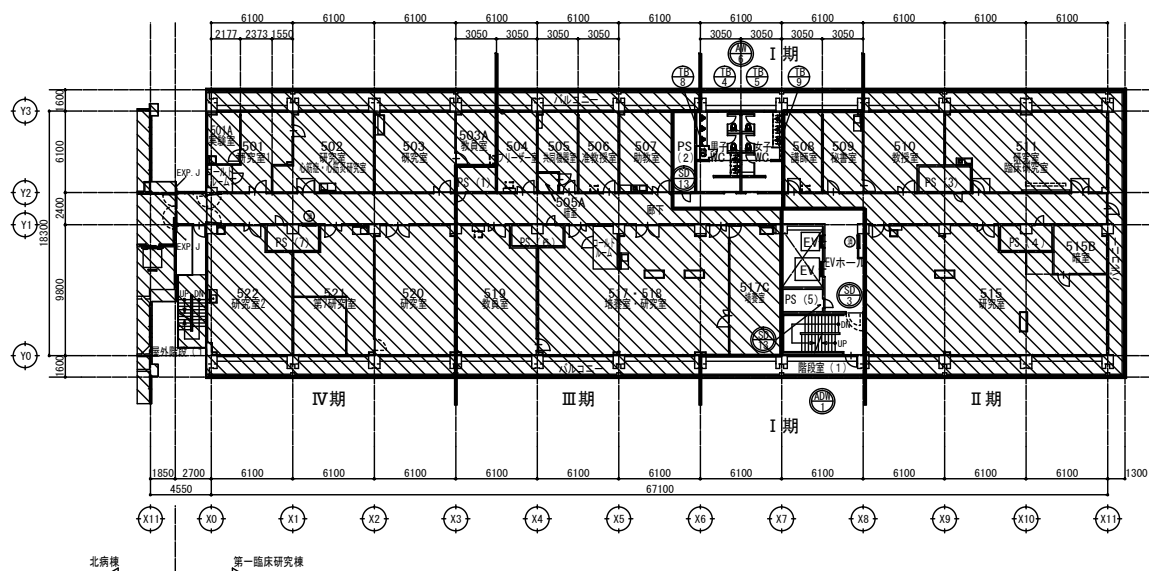
改修前 凡例	
	本工事範囲外を示す
	撤去建具符号を示す (建具表を参照)
	改修建具符号を示す (建具表を参照)
	新設建具符号を示す (建具表を参照)






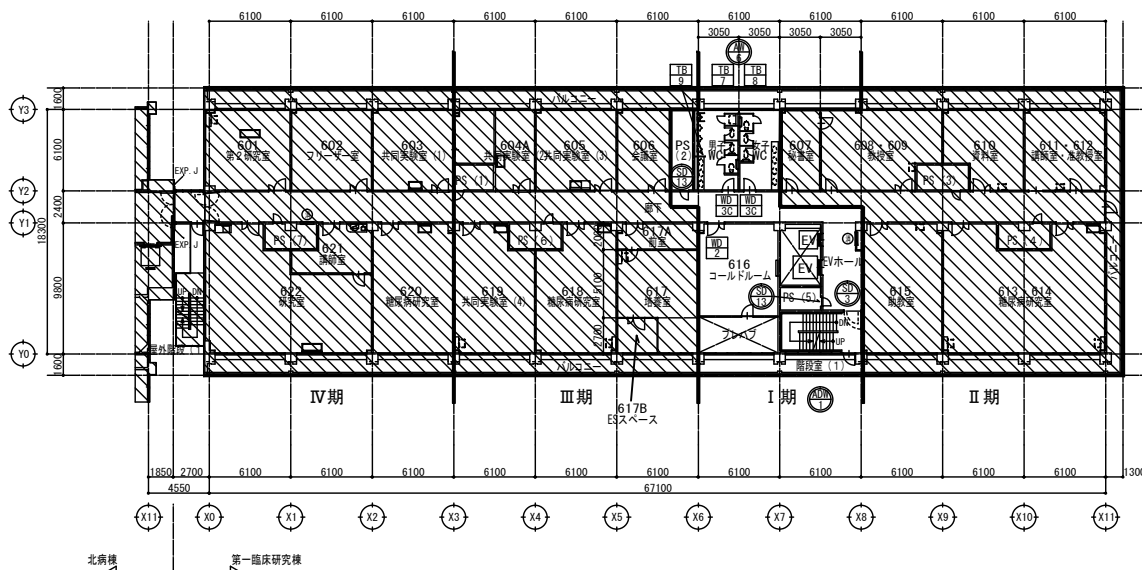
改修後 凡例	
	本工事範囲外を示す
	撤去建具符号を示す (建具表を参照)
	改修建具符号を示す (建具表を参照)
	新設建具符号を示す (建具表を参照)



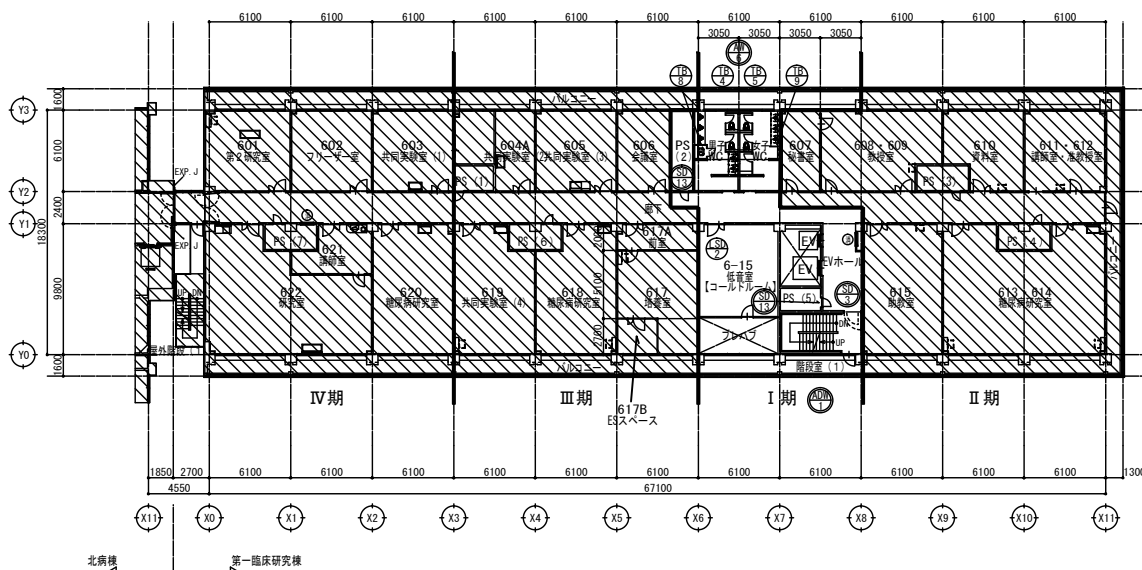
改修前 凡例	
	本工事範囲外を示す
	
	撤去建具符号を示す（建具表を参照）
	改修建具符号を示す（建具表を参照）
	



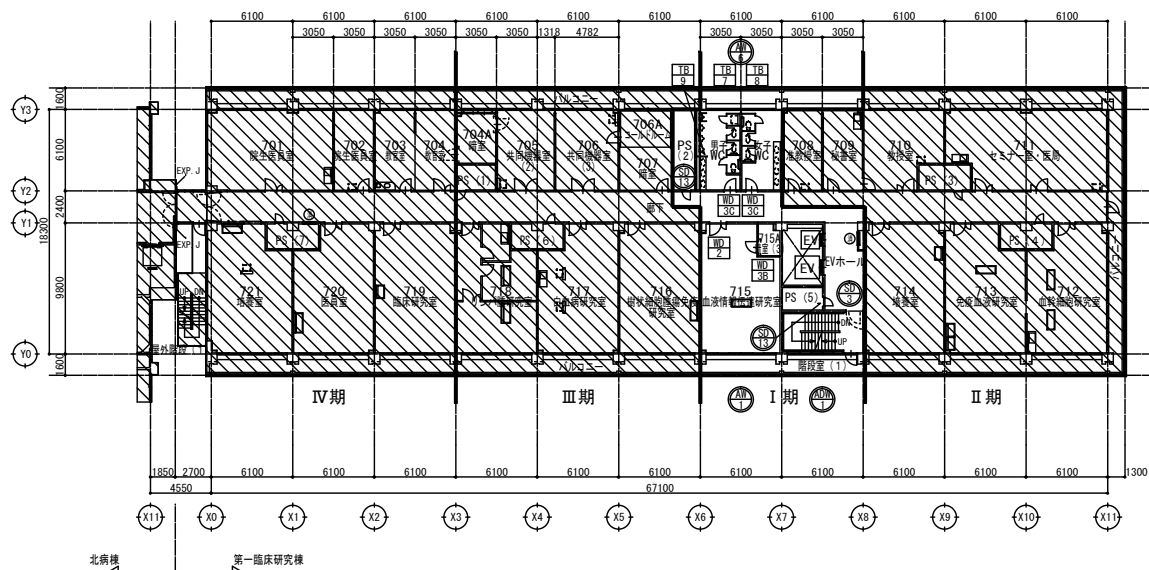
改修後 凡例	
	本工事範囲外を示す
	新設建具符号を示す（建具表を参照）
	改修建具符号を示す（建具表を参照）



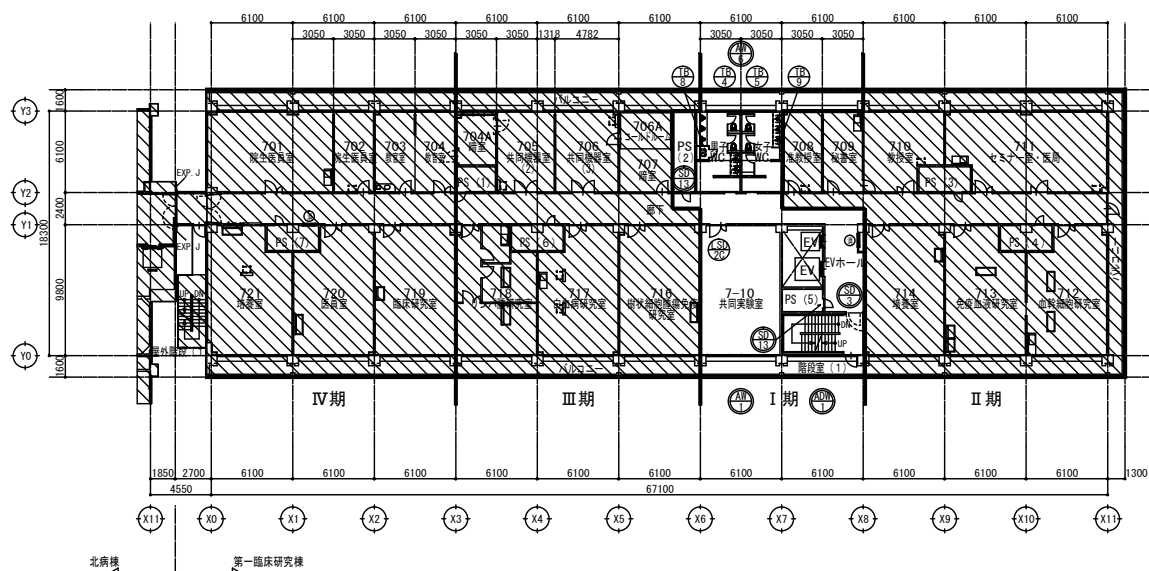
改修前 凡例	
	本工事範囲外を示す
	撤去建具符号を示す（建具表を参照）
	改修建具符号を示す（建具表を参照）



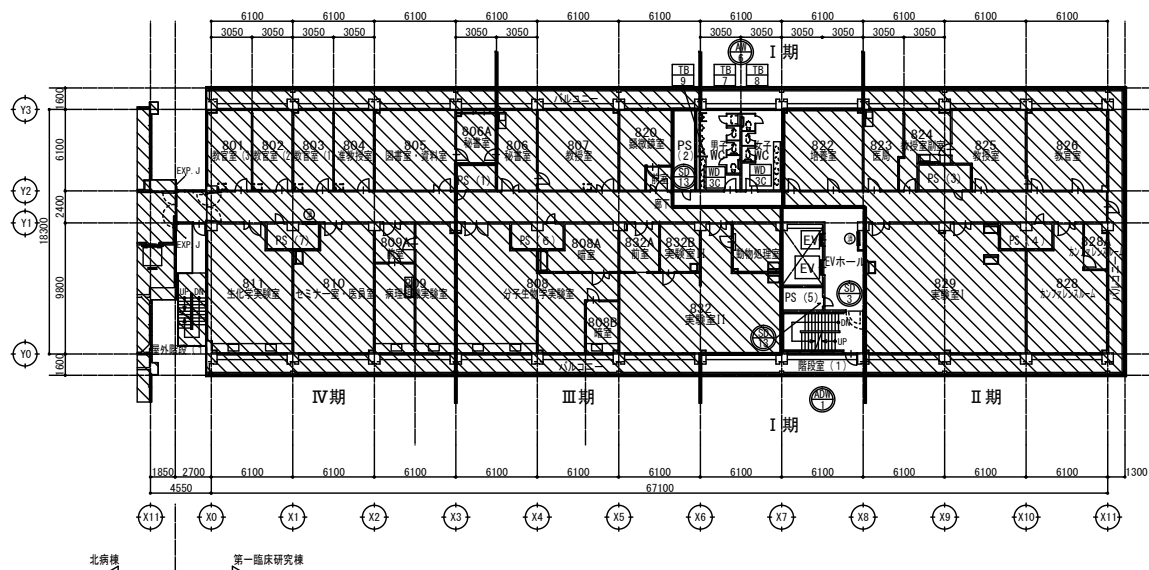
改修後 凡例	
	本工事範囲外を示す
	新設建具符号を示す（建具表を参照）
	改修建具符号を示す（建具表を参照）



改修前 凡例	
	本工事範囲外を示す
	撤去建具符号を示す（建具表を参照）
	改修建具符号を示す（建具表を参照）

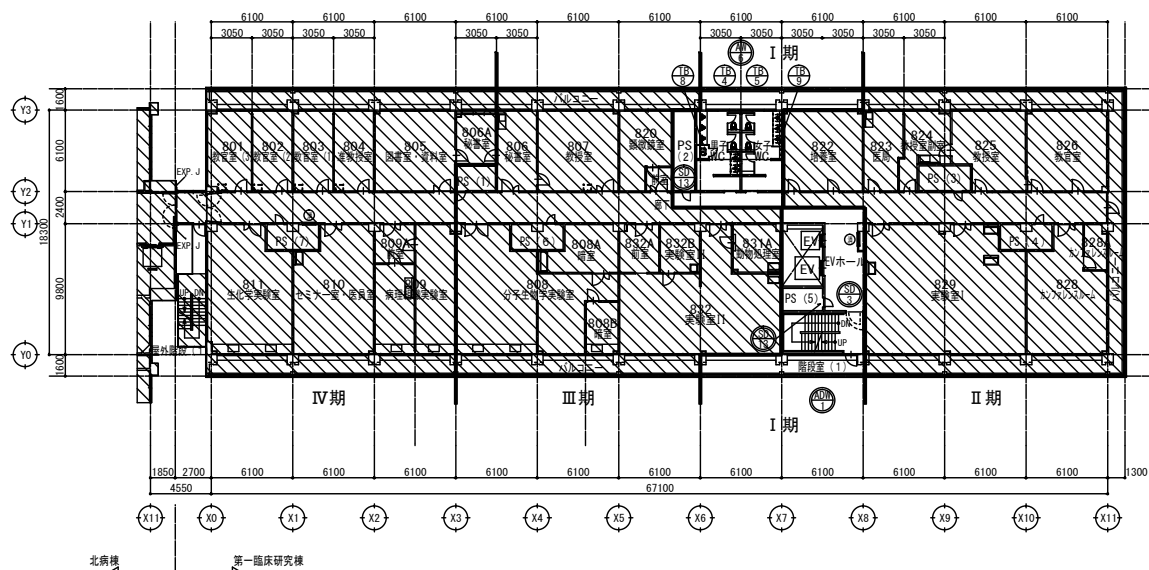


改修後 凡例	
	本工事範囲外を示す
	新設建具符号を示す（建具表を参照）
	改修建具符号を示す（建具表を参照）



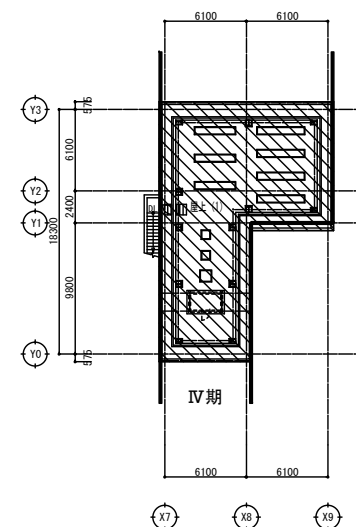
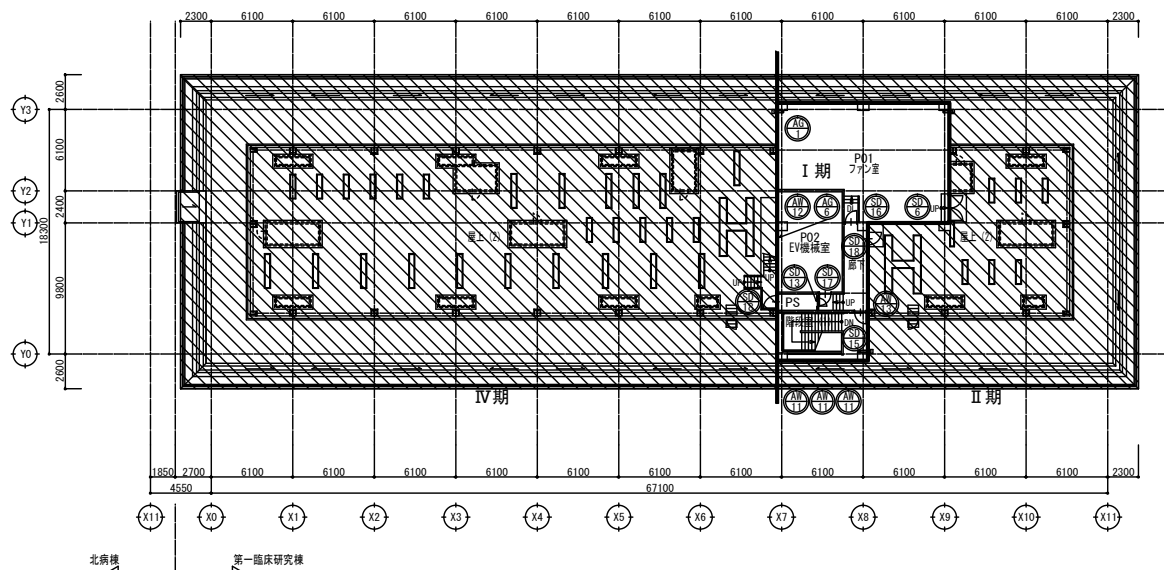
改修前 凡例

	本工程範囲外を示す
	撤去建具符号を示す（建具表を参照）
	改修建具符号を示す（建具表を参照）

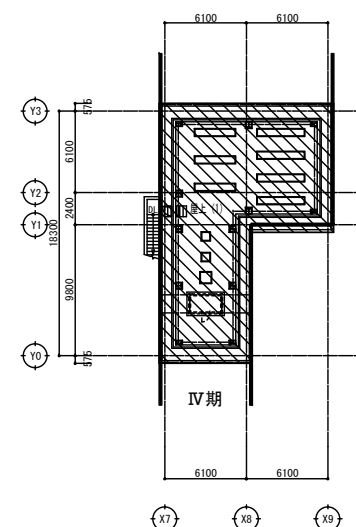
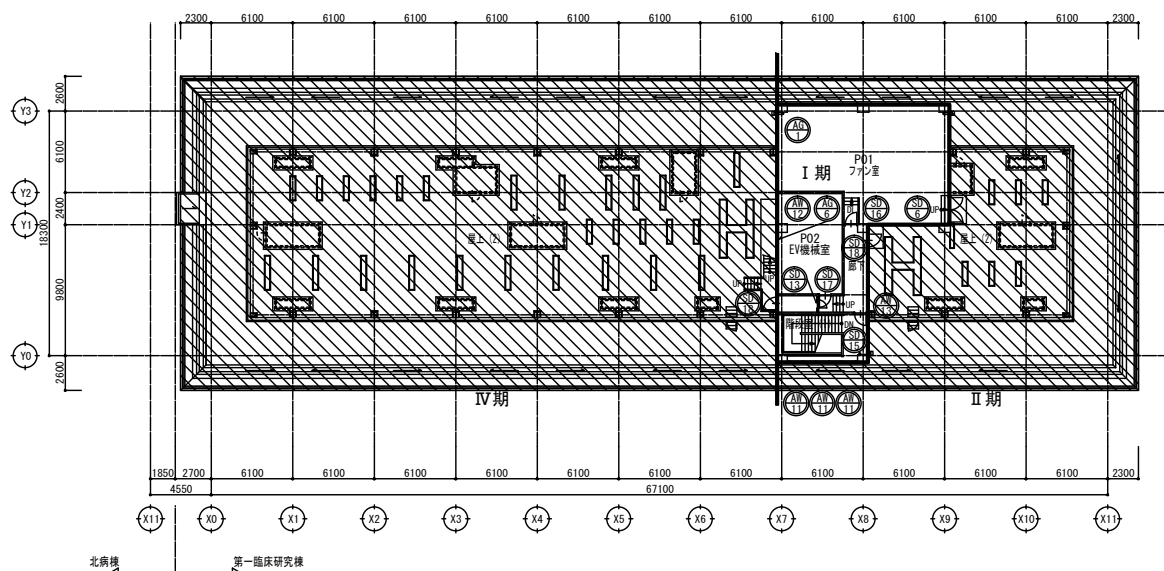


改修後 凡例

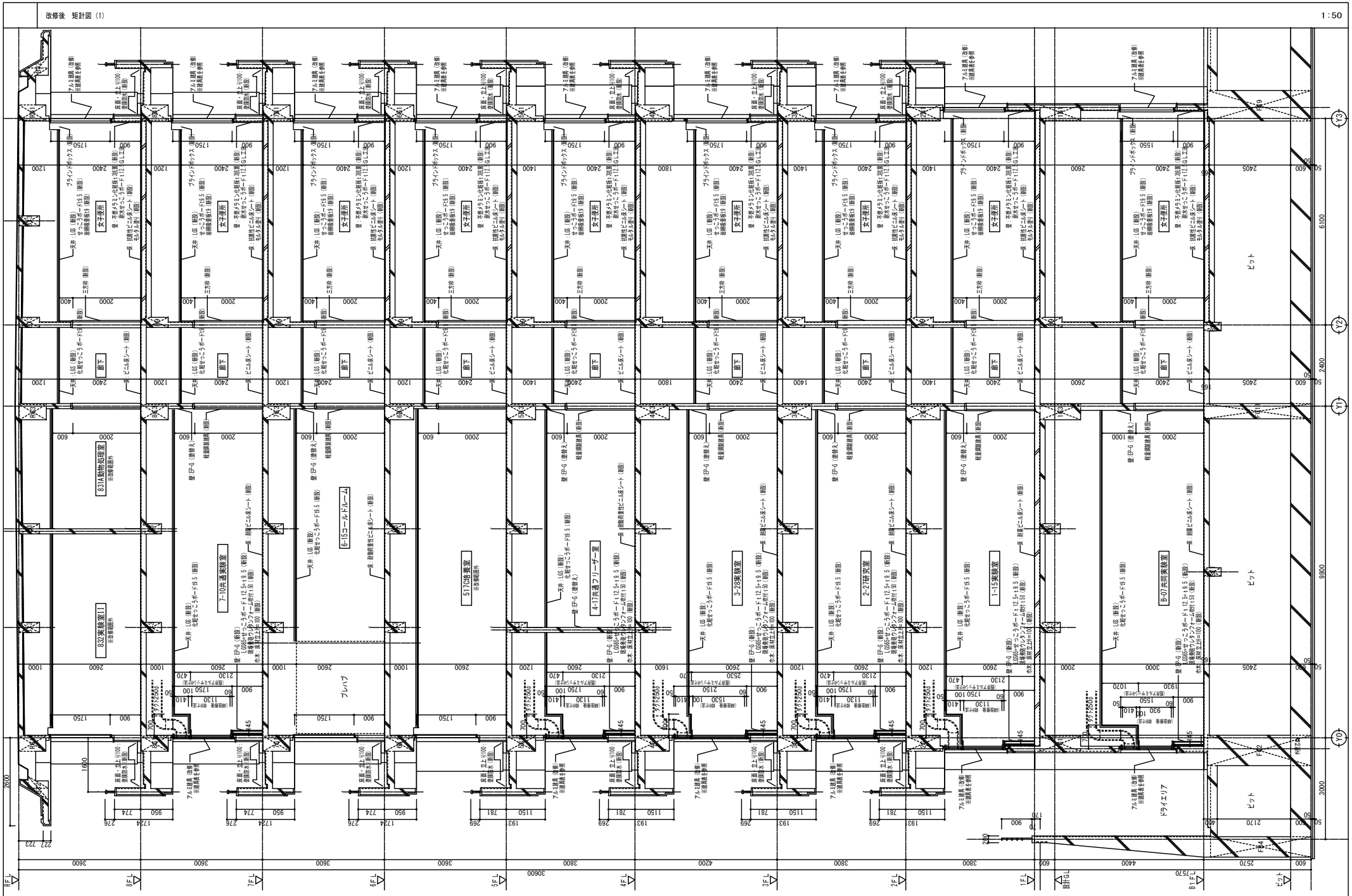
	本工程範囲外を示す
	撤去建具符号を示す（建具表を参照）
	改修建具符号を示す（建具表を参照）



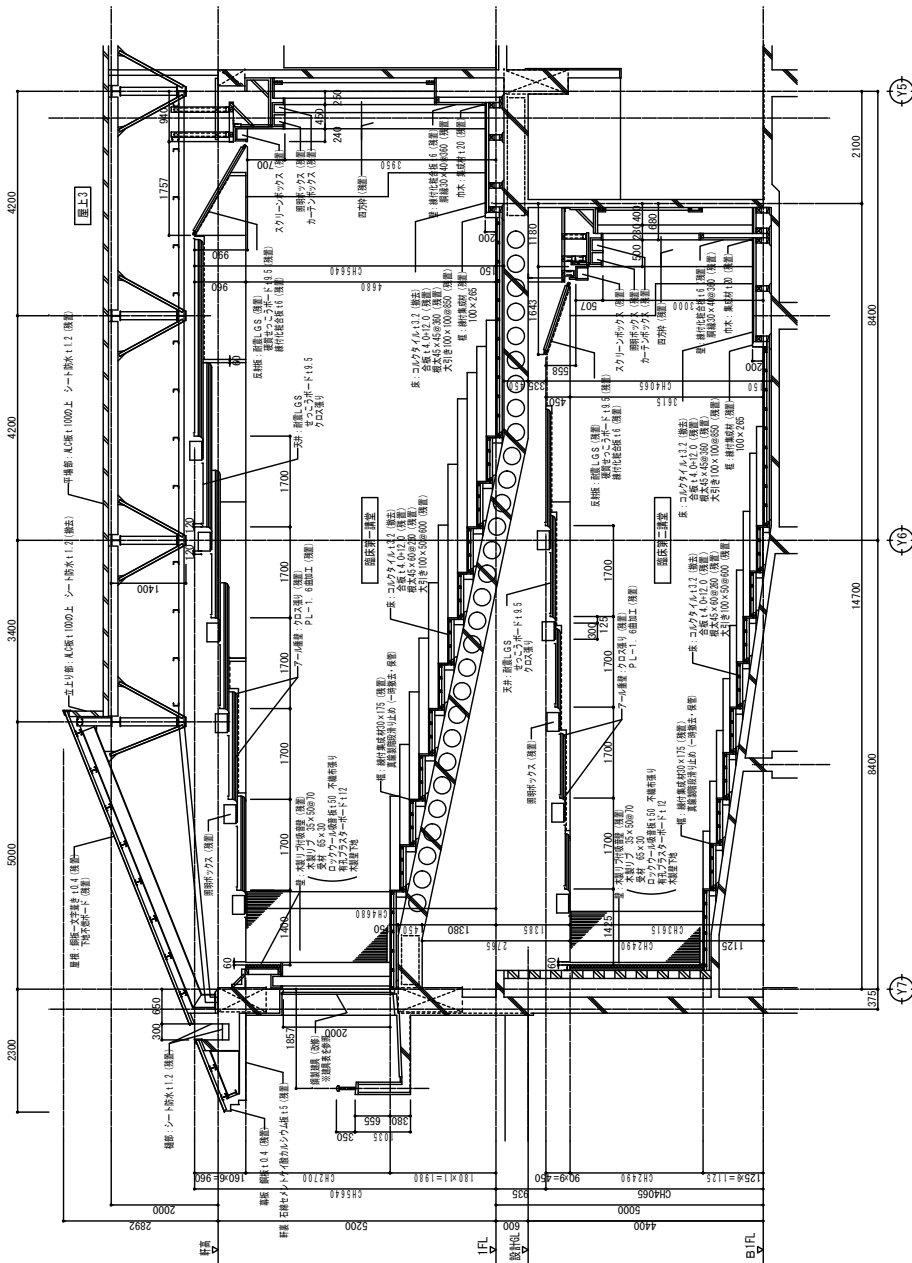
改修前 凡例	
	本工事範囲外を示す
	撤去建具符号を示す (建具表を参照)
	改修建具符号を示す (建具表を参照)



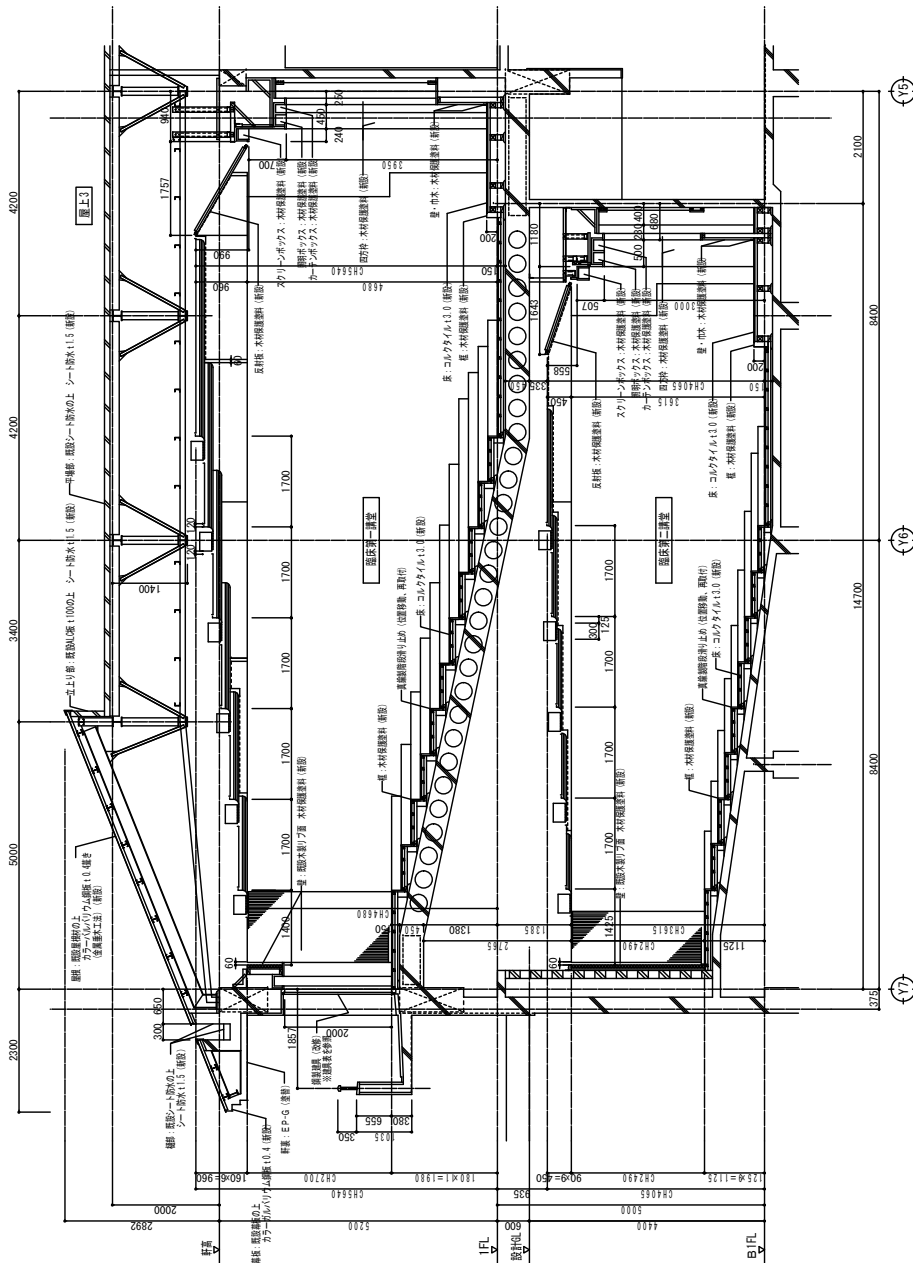
改修後 凡例	
	本工事範囲外を示す
	新設建具符号を示す (建具表を参照)
	改修建具符号を示す (建具表を参照)



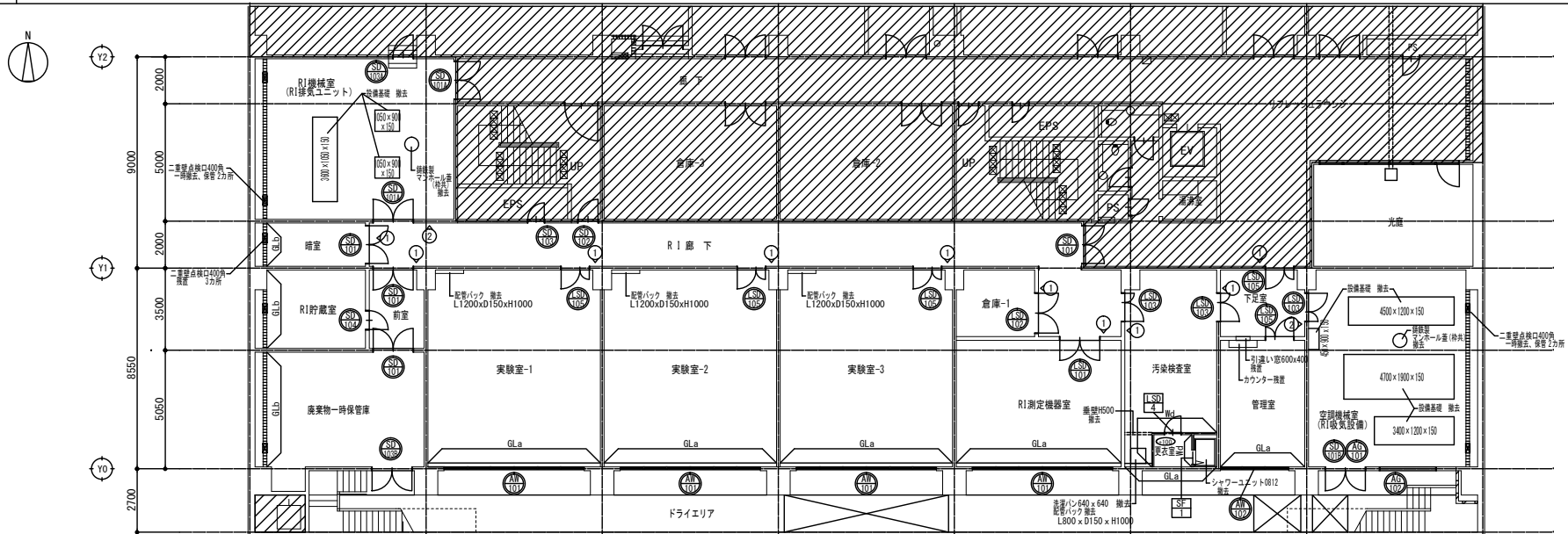
(1) 図面表 参考図



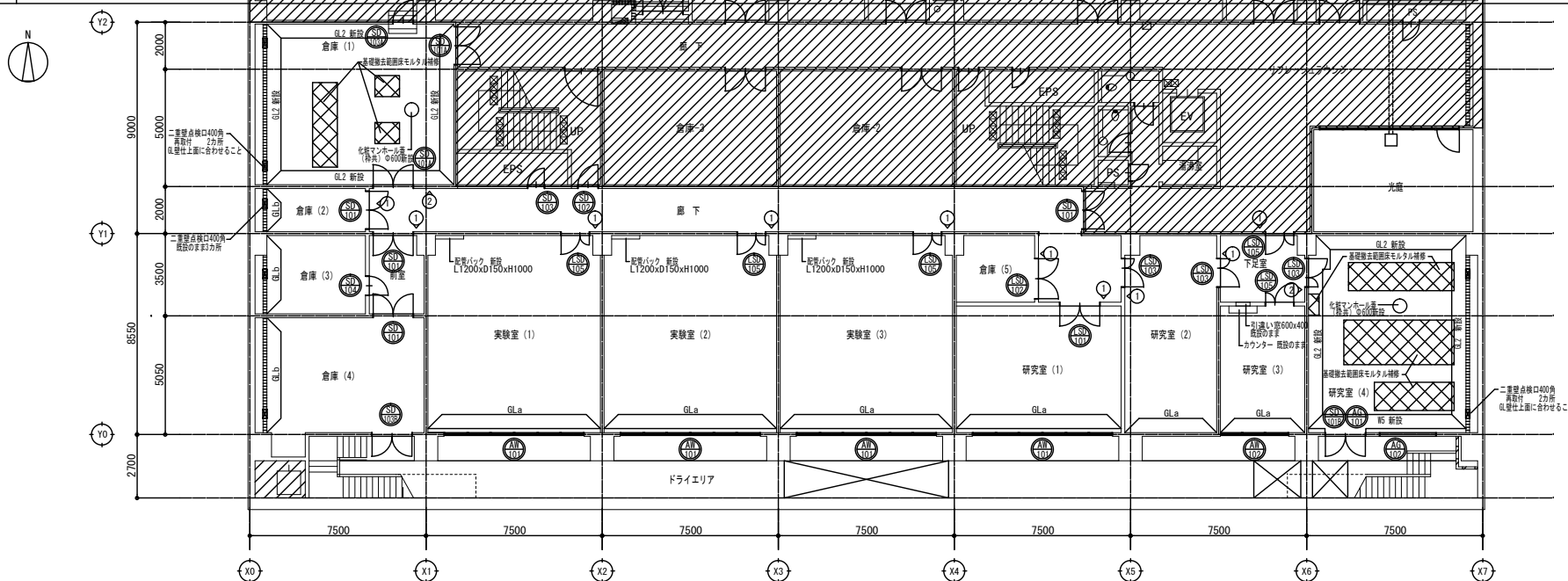
矩計詳細図 1/50



矩計詳細図 1/50



改修前 凡例	
	本工事範囲外を示す
	各床高さを示す (特記なき限りFL±0)
	既設OB150を示す (残置)
GLa	断熱材130打込+せっこうボードt12.5SL工法 (残置)
GLb	OS面せっこうボードt12.5SL工法 (残置)
Wd	LGS100+せっこうボードt12.5+t9.5両面 (撤去)
	撤去建具符号を示す (建具表を参照)
	既設平付けサイン (壁名札) K200x400 一時撤去、保管を示す
	既設平付けサイン (壁名札) K200x450 一時撤去、保管を示す



改修後 凡例	
	本工事範囲外を示す
	既設OB150を示す (既設のまま)
GLa	断熱材130打込+せっこうボードt12.5SL工法 (既設のまま)
GLb	OS面せっこうボードt12.5SL工法 (既設のまま)
GL2	既設OS面及び既設OS面せっこうボードt12.5SL工法 (新設)
WS	LGS65+せっこうボードt12.5+t9.5片面 (新設)
	改修建具符号を示す (建具表を参照)
	既設平付けサイン (壁名札) K200x400 再取付を示す
	既設平付けサイン (壁名札) K200x450 再取付を示す
床高さは全てFL±0	

工事名 京都大学 (南部) 総合研究棟 (第一臨床研究棟・1期) 改修工事			図面番号
図面名称 先端科学研究棟 平面図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	設計日 令和6年6月	25